

## 第6章

### 參考資料

# 第6章 参考資料

## 6-1 地勢

### 1. 位置

新幹線三島駅を有する三島市は、東京から約 100km 圏内にあり、富士・箱根・伊豆の玄関口に位置しています。

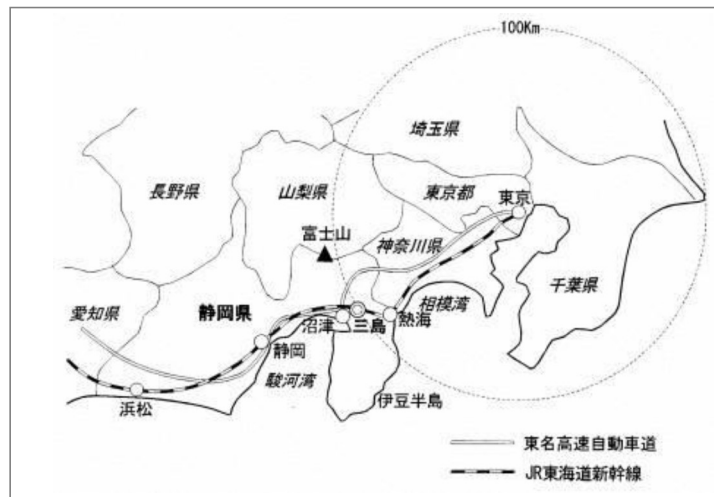


図 6-1 三島市の首都圏からの位置

出典)三島市 HP

裾野市、長泉町、清水町、沼津市、函南町、神奈川県箱根町と隣接しています。

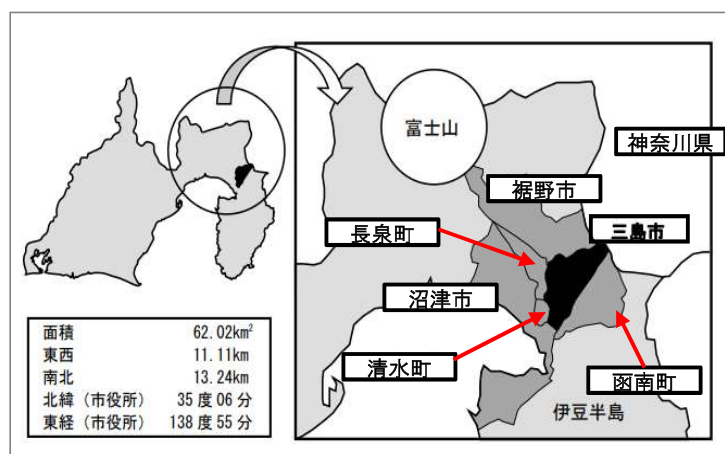


図 6-2 三島市の静岡県内での位置

出典)第2次三島市環境基本計画(一部加筆)

## 2. 地形・土地利用

市の南部は平野部が広がっており、市の北部及び北東部は丘陵地、山間地が広がっています。

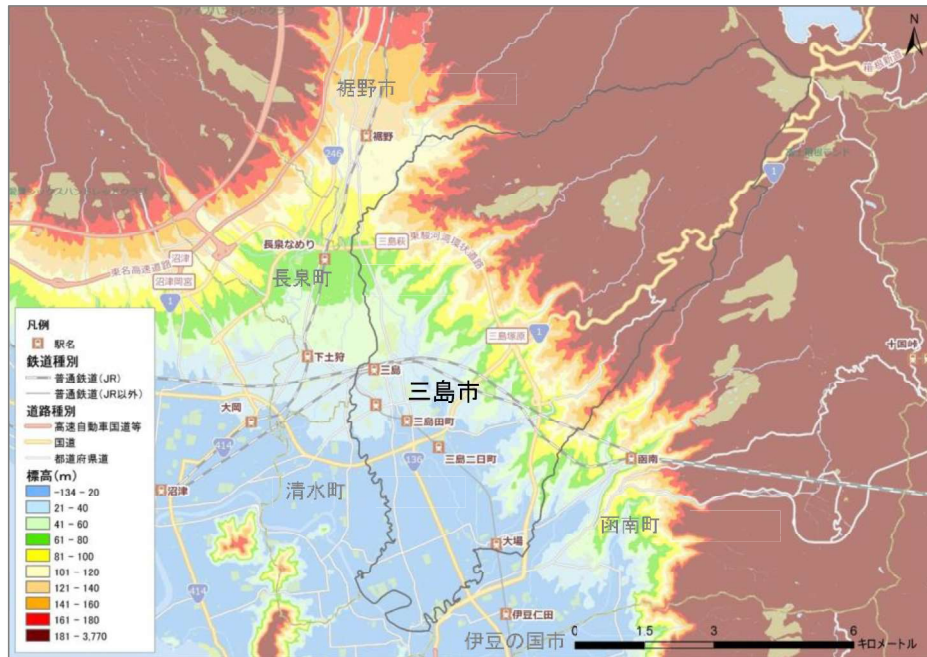


図 6-3 地形の起伏

資料:国土数値情報  
出典)三島市地域公共交通網形成計画

人口集中地区は三島駅から半径5km 圏内にあり、コンパクトな街が形成されています。



図 6-4 人口集中地区

出典)国土数値情報

## 6-2 人口

### 1. 人口

市の人口は約 11 万人(平成 27(2015)年現在)で、30 年後(令和 27(2045)年)には 8.5 万人にまで減少すると推計しています。



図 6-5 三島市の人口推移

出典)第 5 次三島市総合計画

年齢階層別では、老年人口が増加する一方で、年少人口は減少しており、少子高齢化が進展しています。

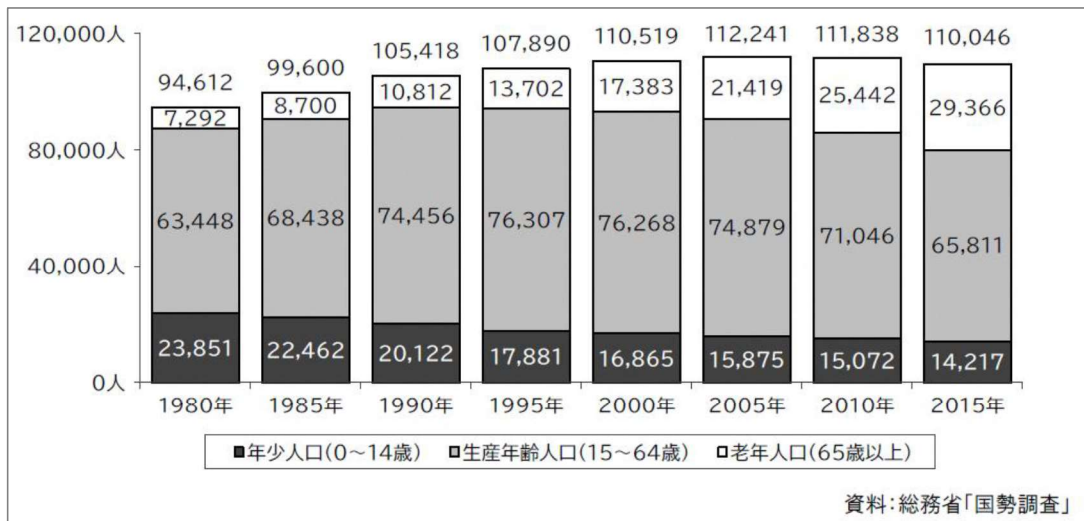


図 6-6 三島市の年齢階層別人口の構成

出典)三島市人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略

## 2. 免許返納の状況

免許保有者数はゆるやかな減少傾向にある一方、高齢者の免許返納者数は増加傾向にあります。

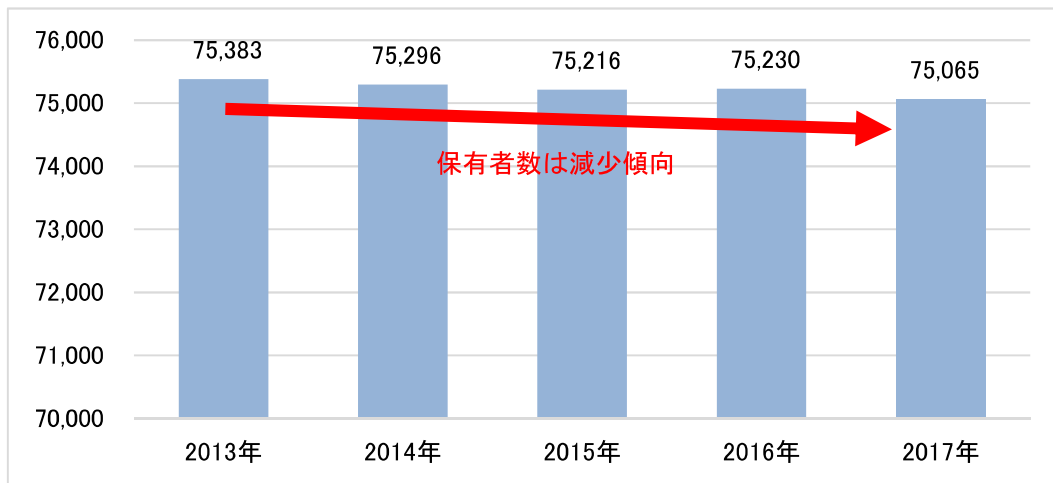


図 6-7 運転免許保有者数の推移

資料: 交通年鑑 2013 年～2017 年(静岡県警察本部)  
出典)三島市地域公共交通網形成計画

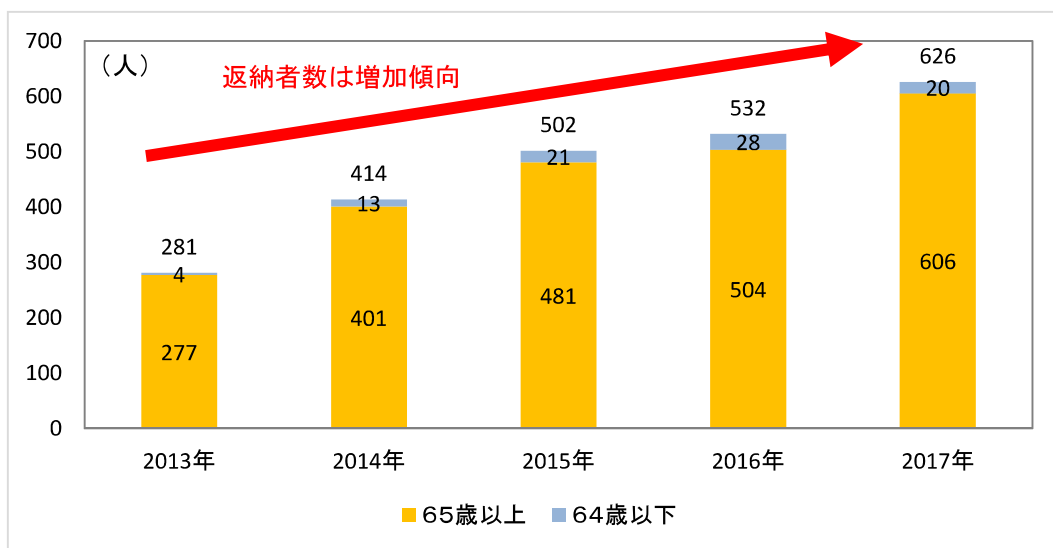


図 6-8 免許返納者数の推移(三島警察署への届け出分)

資料: 静岡県警察本部への聞き取り結果  
出典)三島市地域公共交通網形成計画

### 3. 自動車保有の状況

自動車保有台数はほぼ横ばいで推移していますが、平成 28 年の 80,019 台をピークに減少傾向にあります。車種別にみると、乗用車、トラック等、二輪車等は減少傾向であるが、軽四輪は増加傾向にあります。

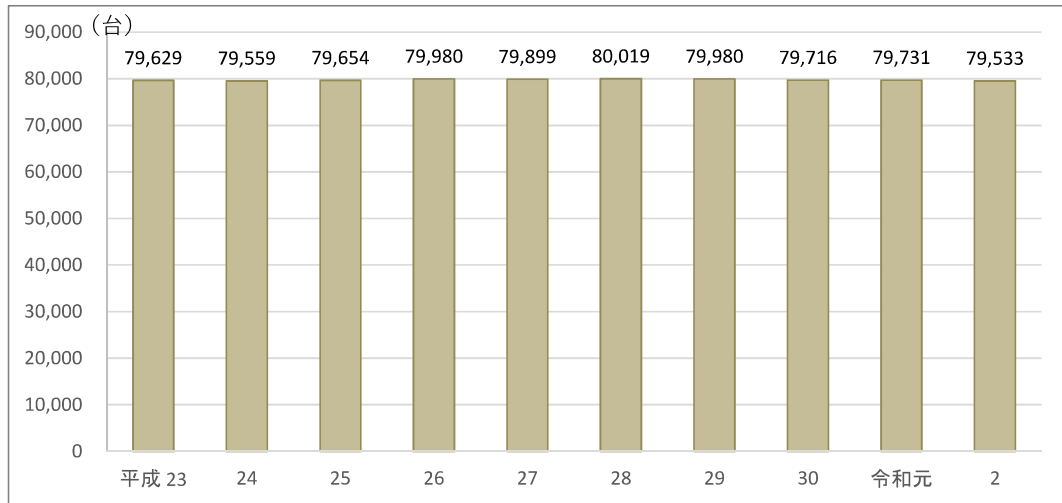


図 6-9 自動車保有台数の推移(全車種)

資料:各年 4 月 1 日現在 静岡県自動車保有台数調べ  
出典)三島の統計 2021

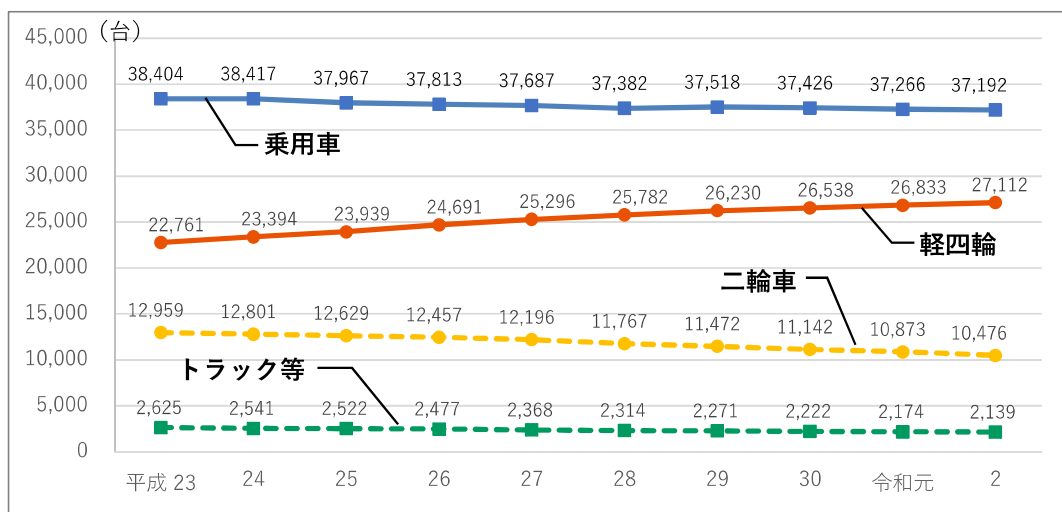


図 6-10 自動車保有台数の推移(車種別)

資料:各年 4 月 1 日現在 静岡県自動車保有台数調べ  
出典)三島の統計 2021

## 6-3 交通基盤

### 1. 公共交通網

市の鉄道は3路線で、新幹線とJR 東海道本線が東西方面に、伊豆箱根鉄道が南方面へ運行しています。路線バスは三島駅や大場駅を中心とした路線網のほか、市自主運行バス、市内循環バスが運行しています。

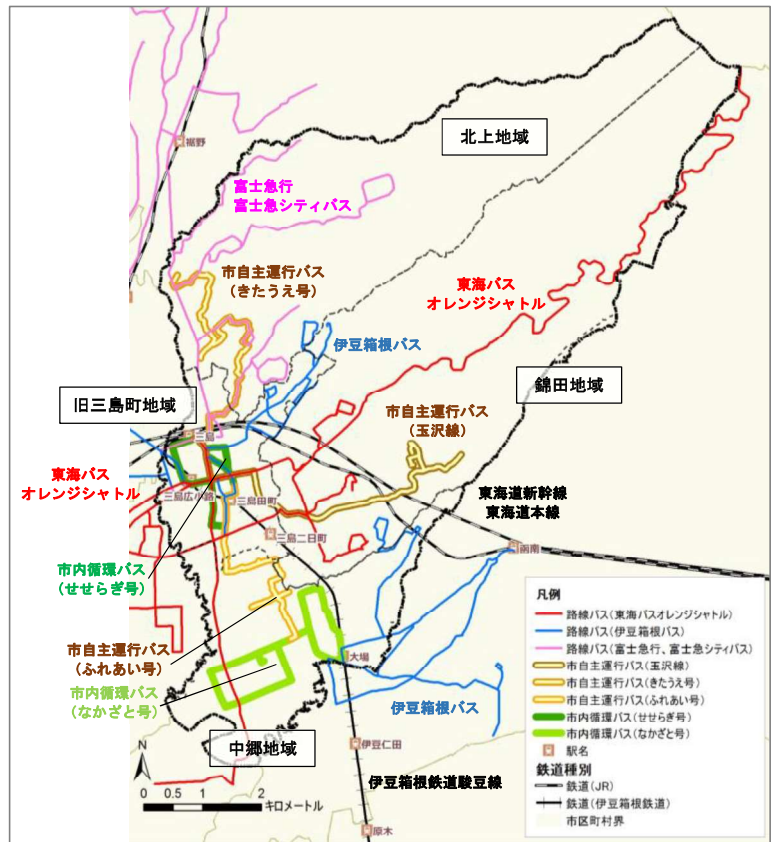


図 6-11 公共交通網  
出典)三島市地域公共交通網形成計画

伊豆箱根鉄道駿豆線では、車内に自転車を持ち込み可能なサイクルトレインを運行しています。

伊豆箱根鉄道
Seibu Group

## サイクルトレイン運行中!

**対象列車** 別色編り子号はご利用できません。

毎週 月～金  
下り 三島駅発 9時00分発～14時53分発  
上り 修善寺駅発 9時02分発～14時58分発

毎週 土・日および祝日  
下り 三島駅発 7時11分発～17時50分発  
上り 修善寺駅発 7時05分発～17時52分発

**対象とする駅**

三島	三島広小島	三島田町	三島二日町	大場	伊豆仁田	原本
○	X	△	○	○	○	X
山	伊豆長岡	田原	大仁	秋之郷	修善寺	
△	△	△	△	X	○	

○ 自転車をお車内まで移動いただけます。  
△ 電車が到着するホームによっては、階段をお通りのいただく場合がございます。  
X ご利用いただけません。

※のついでに駅は駅係員特別要請駅です。ご利用の際は、事前にお電話か駅係員のインターフォンで駅係員内係にご予約ください。  
TEL:055-977-1207

**車内のお持ち込みについて**

台数はお客さまおひとり1台まで、1列車あたり6台まで

- お持ち込み可能スペース 修善寺方面先頭車両(1号車)の乗務員室付近 三島方面先頭車両(3号車)の乗務員室付近
- お乗車可能ドア 修善寺方面先頭車両(1号車)の乗務員室直下のドア 三島方面先頭車両(3号車)の乗務員室直下のドア

※乗車券がご利用のときは駅係員にお尋ねください。

二車台列車(修善寺方面) 三島駅発着 毎時毎分三島駅発着

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○ 乗車券がご利用のときは駅係員にお尋ねください。

**ご利用上の注意**

- ・乗車券は1枚のみお持ち込み可能となります。
- ・ホーム・改札・階段・伊豆箱根線各駅に設置の足踏板に必ずご注意ください。
- ・乗車券はホーム上は指定席が利用できず自由席をご利用ください。
- ・乗車券は乗車券を保持しお持ち込みの際は必ずお持ち込みください。
- ・お持ち込みの際は必ずおひとり1台まで、1列車あたり6台までとさせていただきます。
- ・指定席をご利用の際は必ずお持ち込みの際は必ずお持ち込みください。
- ・乗車券は必ずお持ち込みの際は必ずお持ち込みください。
- ・ご利用の際は必ずお持ち込みの際は必ずお持ち込みください。
- ・お持ち込みの際は必ずお持ち込みの際は必ずお持ち込みください。
- ・お持ち込みの際は必ずお持ち込みの際は必ずお持ち込みください。

お問い合わせ 伊豆箱根鉄道 鉄道部 ☎055-977-1207 〒411-8533 静岡県三島市大塚300

TEL:055-977-1207 (土・日・祝日) E-SPo http://www.izuhokuriku.co.jp

図 6-12 伊豆箱根鉄道駿豆線サイクルトレイン  
出典)伊豆箱根鉄道

## 2. 公共交通カバー状況

市の公共交通の人口カバー率(鉄道駅 300m、バス停 300m の圏域)は、全体で 90.5%となっており、周辺自治体と比較しても高く、公共交通網が充実しています。

市街化区域内については、JR 三島駅までの徒歩及び公共交通での時間距離圏(公共交通アクセシビリティ)がほぼ 30 分圏域となっています。

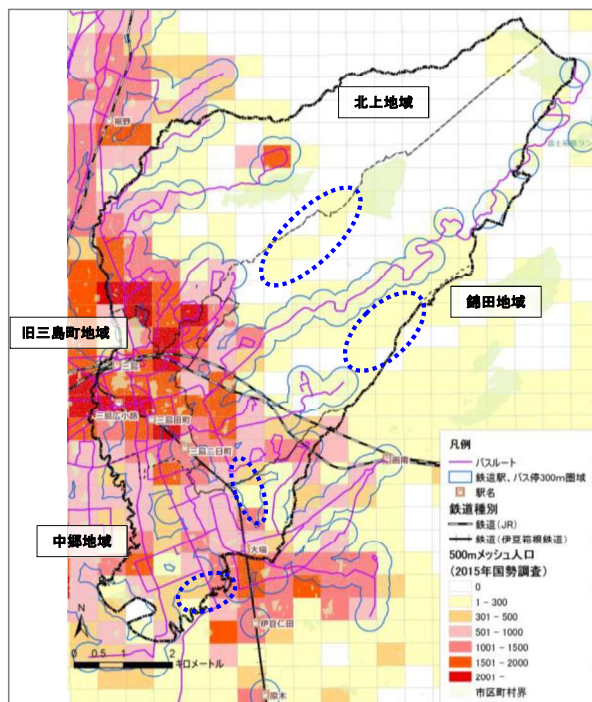


図 6-13 公共交通の人口カバー状況  
出典)三島市地域公共交通網形成計画

※人口は平成 27 年国勢調査

※カバー人口は鉄道駅 300m 半径、バス停半径 300m

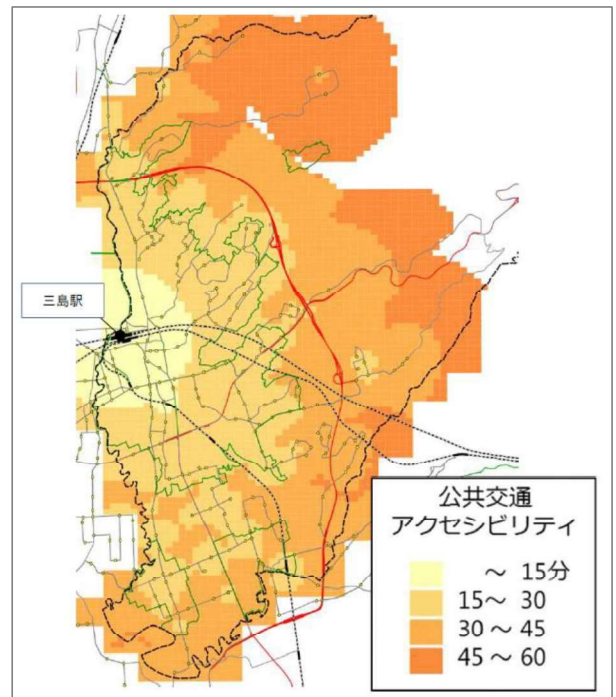


図 6-14 三島駅までの公共交通アクセシビリティ  
出典)三島市立地適正化計画



### 3. 駐輪場整備状況

市営駐輪場は三島駅の北口と南口、三島広小路駅の合計3か所が整備されており、全 2,620 台収容可能となっています。また、鉄道会社により三島田町駅・三島二日町駅・大場駅に駐輪場が整備されています。

表 6-1 市営駐輪場整備状況

駐輪場		自転車 利用料	利用 時間	収容台数	備考
三島駅	北口	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1回100円</li> <li>● 回数券 (12回) 1,000円</li> <li>● 定期券 学生 (6か月) 6,300円</li> <li>● 定期券 一般 (6か月) 9,000円</li> </ul>	終日	1,420台	(うち自転車1,047台)
	南口			850台	(うち自転車700台)
三島広小路駅	広小路	350台			

出典)三島市 HP より作成



図 6-15 三島駅周辺の市営駐輪場位置

出典)三島市 HP



図 6-16 三島広小路駅周辺の市営駐輪場位置

出典)三島市 HP

## 4. 自転車通行空間の整備状況

令和2(2020)年6月に策定しました「三島市自転車通行空間ネットワーク整備計画」では、三島駅を中心とした半径2km 圏域を中心に、学校施設や長泉町との接続路線を優先整備区間に設定し、整備を推進しています。

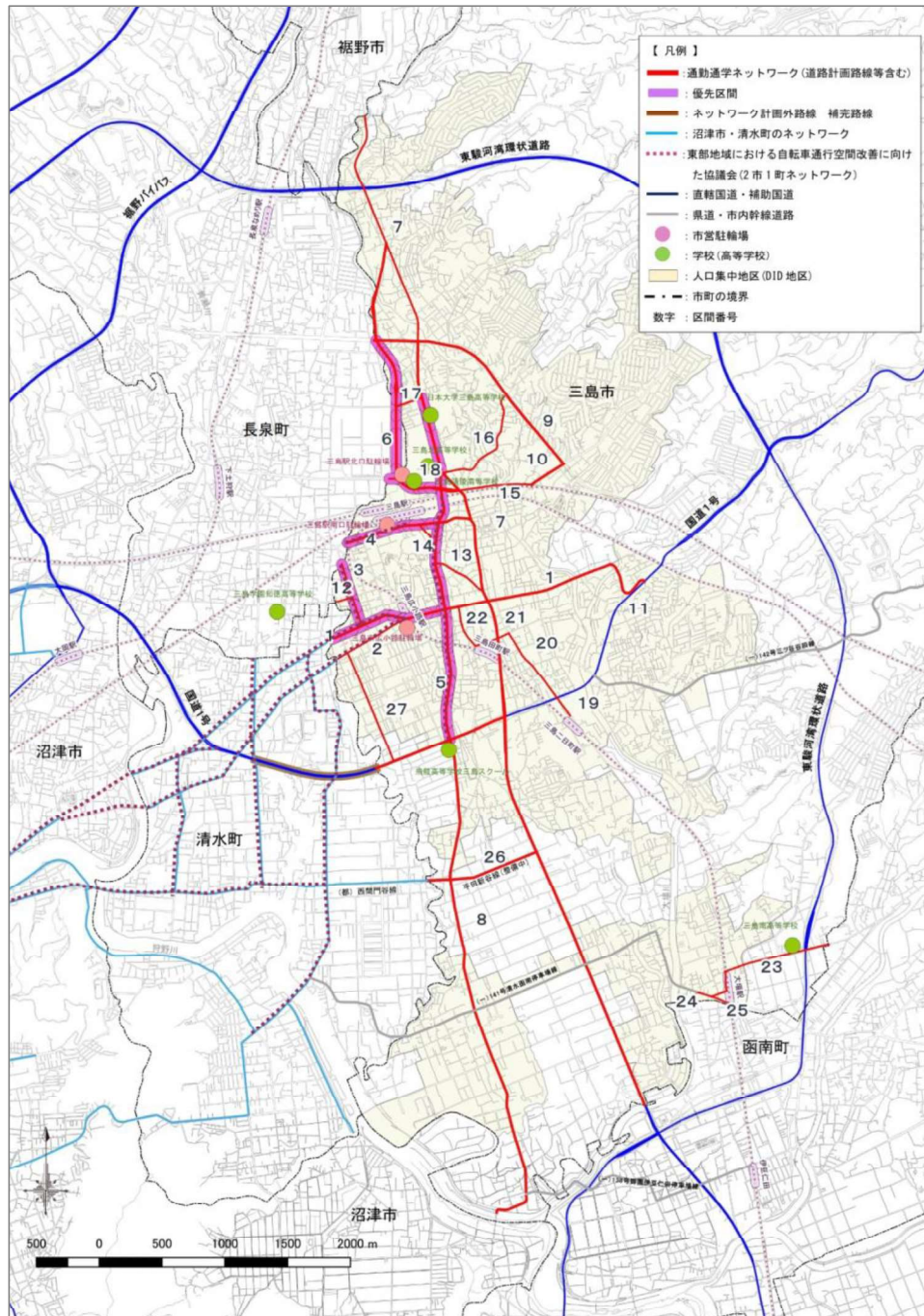


図 6-17 自転車通行空間ネットワーク整備計画優先整備区間

出典)三島市自転車通行空間ネットワーク整備計画書

幅員や交通量等の道路事情から将来計画が当面困難な路線については、「暫定計画」での整備形態で整備を行います。暫定計画は、概ね 10 年以内に整備した場合の暫定形状を想定しています。



A. 自転車道	B. 自転車専用通行帯	C. 車道混在（自転車と自動車の混在通行）
<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な幅員を確保したもの</li> <li>交通規制が伴う普通自転車の通行帯</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な幅員を確保した通行帯</li> <li>交通規制が伴う普通自転車の通行帯</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>矢羽型路面標示の設置</li> <li>道路左側端部の通行空間</li> </ul>
<p>○整備例</p> <p>自転車と自動車を構造的に分離</p>	<p>○整備例</p> <p>自転車と自動車を視覚的に分離</p>	<p>○整備例</p>

図 6-18 整備形態の種類と暫定系整備形態図

出典)三島市自転車通行空間ネットワーク整備計画書

## 5. シェアサイクルの整備状況

平成 30(2018)年 11 月から、シェアサイクル「ハレヒサイクル」のサービスが提供されています。サービス提供範囲は沼津市・長泉町・清水町にも拡大し、利用回数は概ね増加傾向にあります。市内のサイクルポートは、JR 三島駅を中心とした市街地部に集中しています。

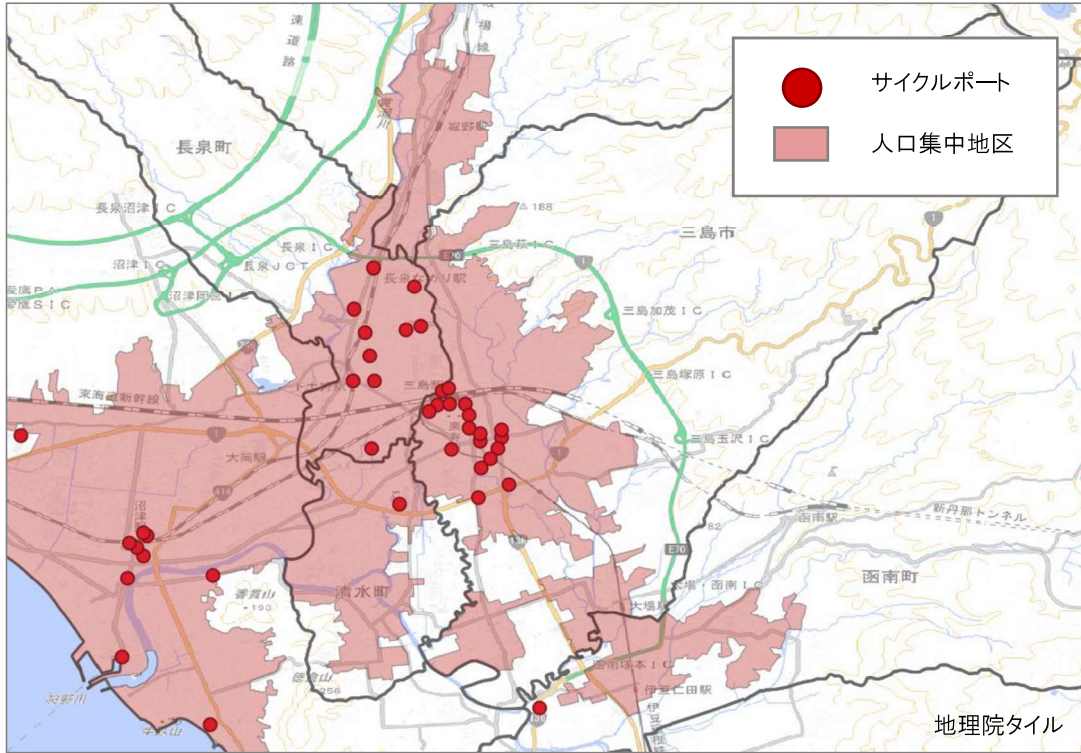


図 6-19 ハレヒサイクル ステーションマップ(三島市周辺サービス提供範囲)  
出典)サイクルポート:HELLO CYCLING HP より作成(2022 年 1 月末現在)、人口集中地区:国土数値情報

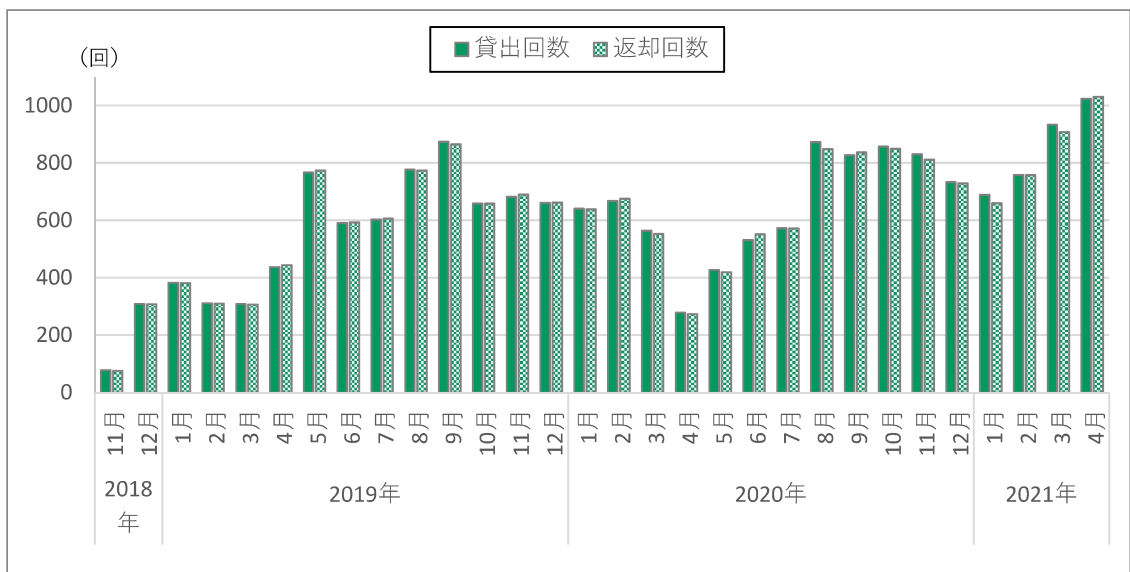


図 6-20 三島市内でのハレヒサイクル利用回数  
出典)定期データ報告資料

## 6-4 交通特性

### 1. 地域間流動

通勤では、三島市から沼津市への流出が特に多いほか、清水町や長泉町、裾野市、伊豆の国市、函南町といった周辺市町との地域間流動が多くみられます。

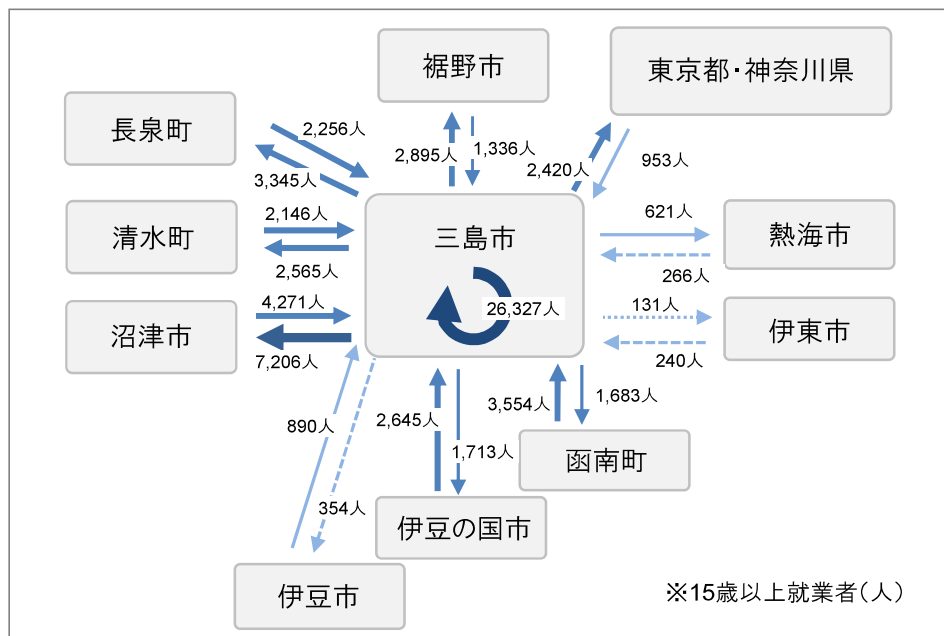


図 6-21 市内・市外の通勤流動

資料:平成 27 年国勢調査 出典)三島市地域公共交通網形成計画

通学では、流出・流入ともに沼津市との流動が多いほか、周辺市町からの流入がみられます。

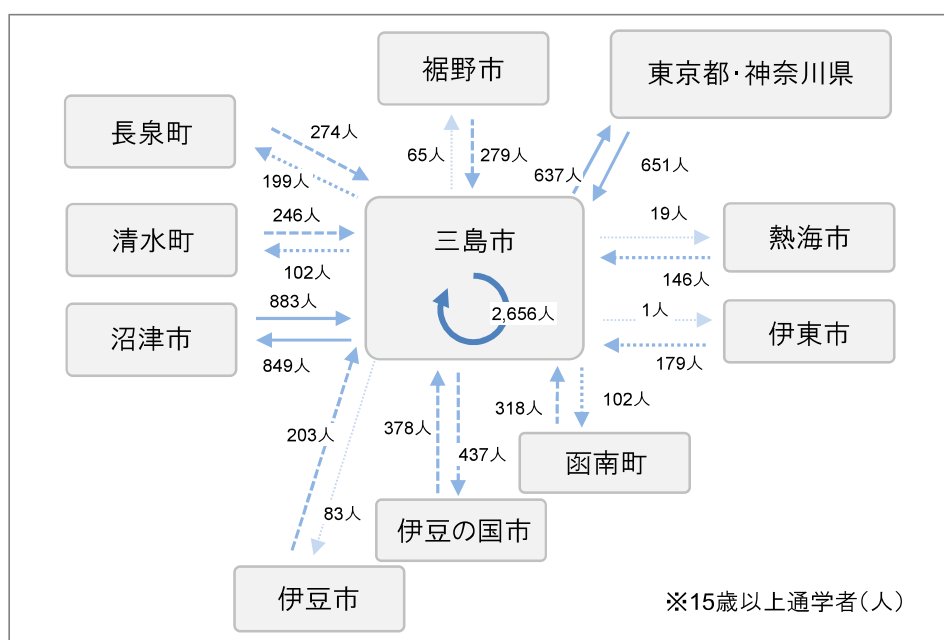


図 6-22 市内・市外の通学流動

資料:平成 27 年国勢調査 出典)三島市地域公共交通網形成計画

## 2. 交通手段（分担率）

市の代表交通手段分担率は、発生交通量で自動車 63.2%、自転車 7.4%、バス・鉄道 7.2%、集中交通量で自動車 63.3%、自転車 7.4%、バス・鉄道 7.1%と、自動車への依存が高い状況です。自転車は、通学目的や通勤目的で利用されています。

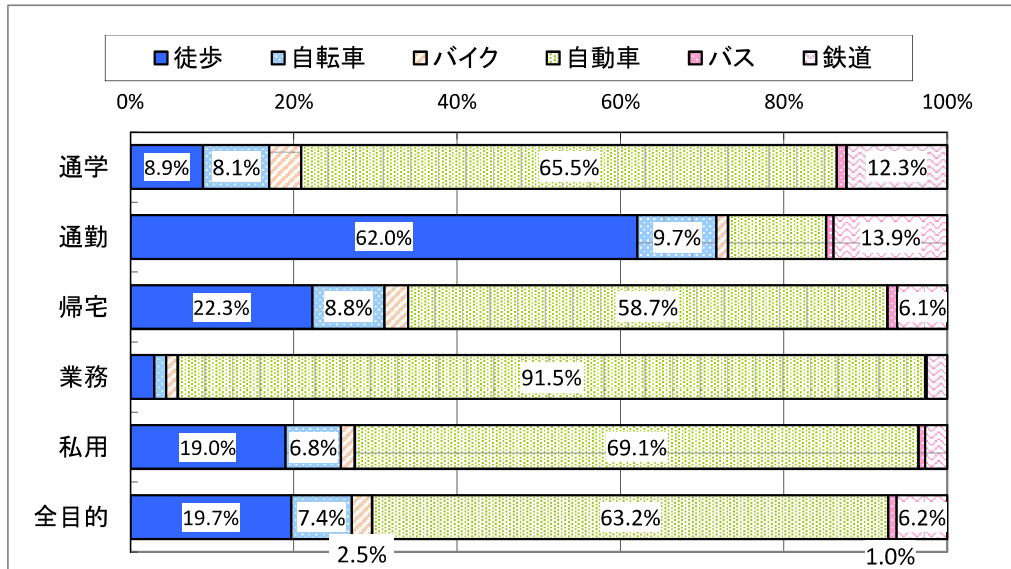


図 6-23 発生交通量の目的別代表交通手段分担率

出典) 第3回東駿河湾都市圏パーソントリップ調査

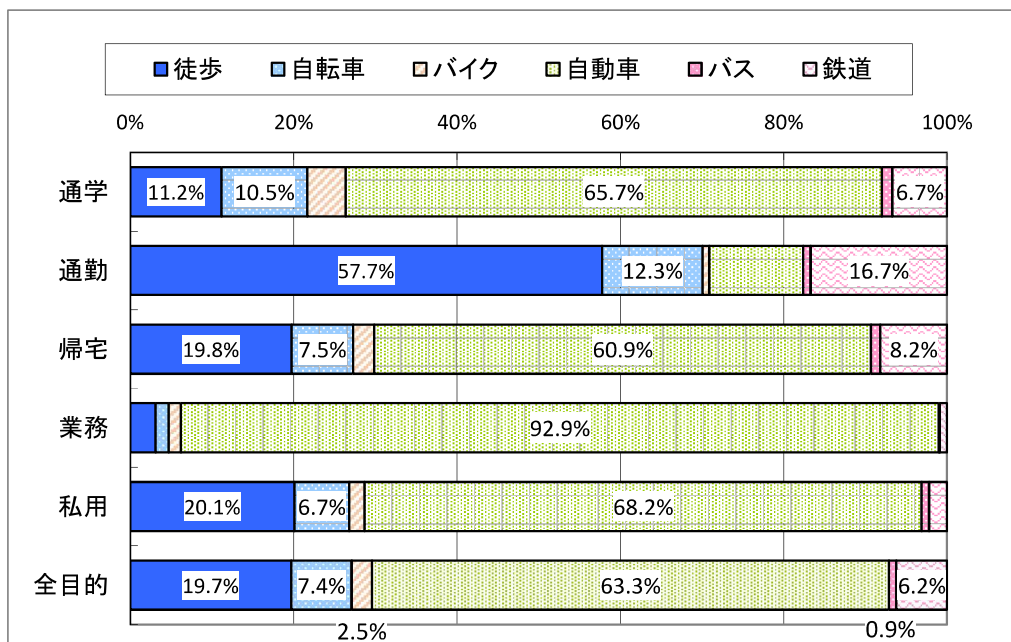


図 6-24 集中交通量の目的別代表交通手段分担率

出典) 第3回東駿河湾都市圏パーソントリップ調査

分担率の変化を見ると、平成 16(2004)年から平成 27(2015)年にかけて、自転車の分担率は 0.2%減少し、自動車の分担率は 1.2~1.3%増加しています。

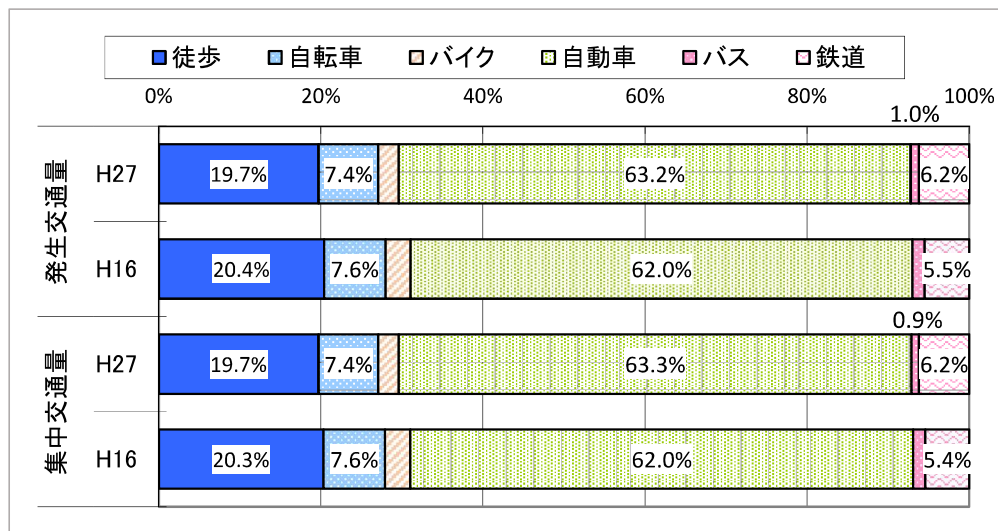


図 6-25 代表交通手段分担率の推移(全目的)

出典)第2回・第3回東駿河湾都市圏パーソントリップ調査

市中心部への移動で自動車を利用する人のうち、約7割が5km以内の短距離移動です。

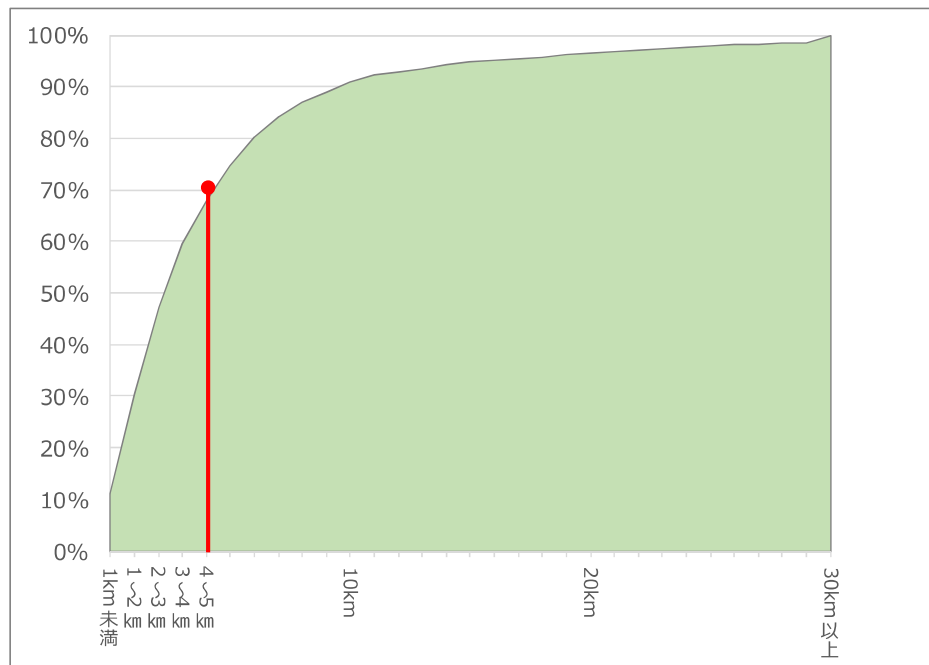


図 6-26 自動車の利用距離帯累計(三島市中心部への移動)

出典)第3回東駿河湾都市圏パーソントリップ調査

### 3. 自転車の利用状況

市の自転車利用者は、JR 三島駅を中心に移動しています。通勤目的、通学目的ともに、長泉町とのつながりが強くなっているとともに南北軸の移動が多い状況です。

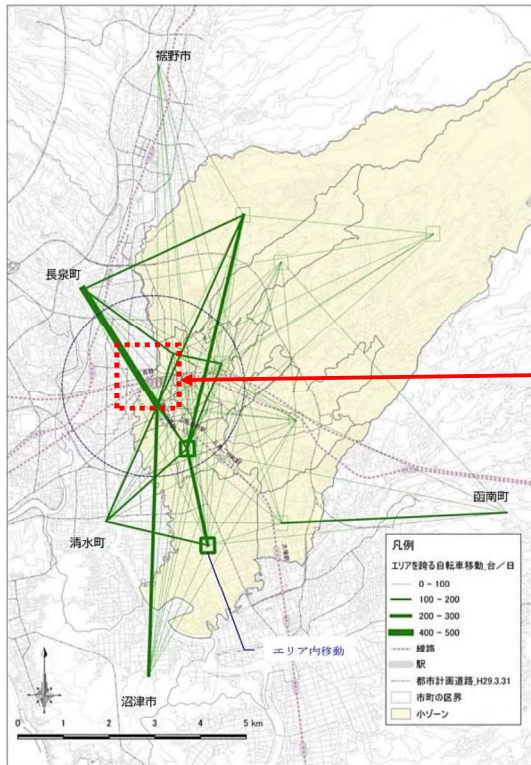


図 6-27 自転車 OD(通勤目的)

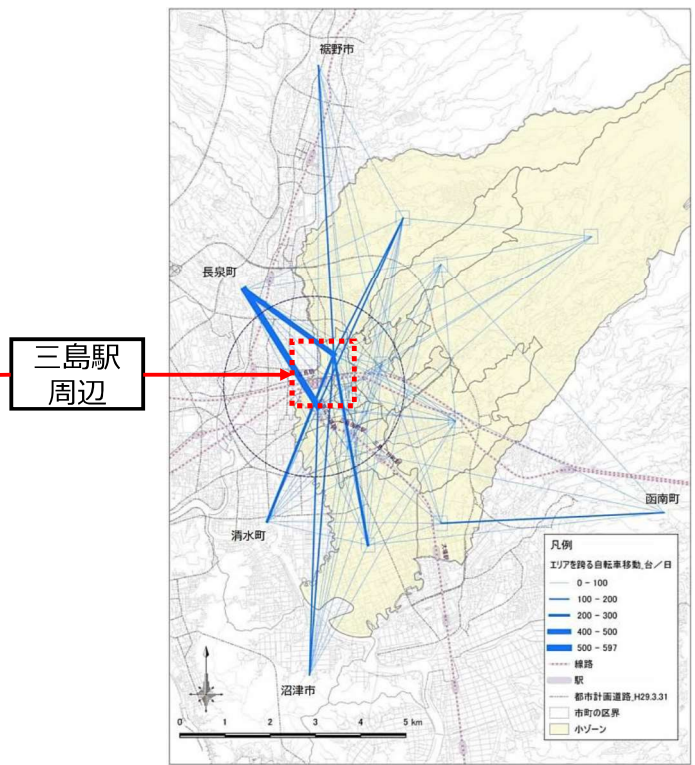


図 6-28 自転車 OD(通学目的)

資料：第3回東駿河湾都市圏パーソントリップ調査  
出典)三島市自転車通行空間ネットワーク整備計画書(一部加筆)



## 6-5 交通安全

### 1. 自転車事故発生件数

三島市内の自転車事故件数は、平成 29(2017)年をピークに減少傾向にあります。事故当事者の年代別では 16～19 歳が最も多く、次いで 15 歳以下と 65 歳以上が多くなっています。時間帯別では通勤・通学時間帯の 8～10 時・16～18 時の発生が多くなっています。

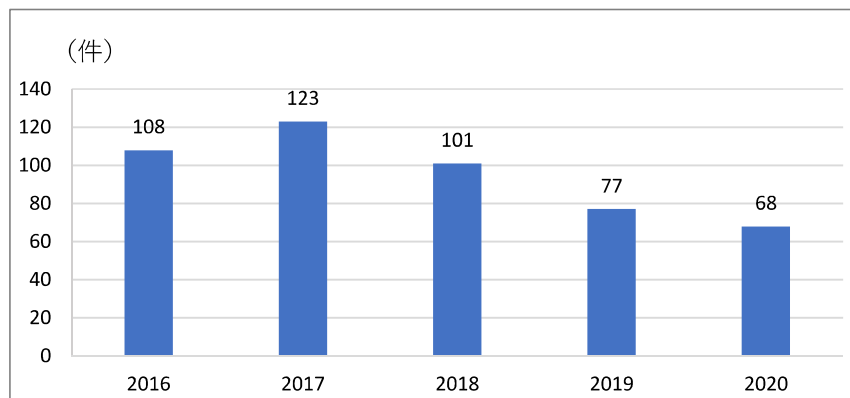


図 6-29 三島市内の自転車事故の推移

出典)三島警察署提供資料

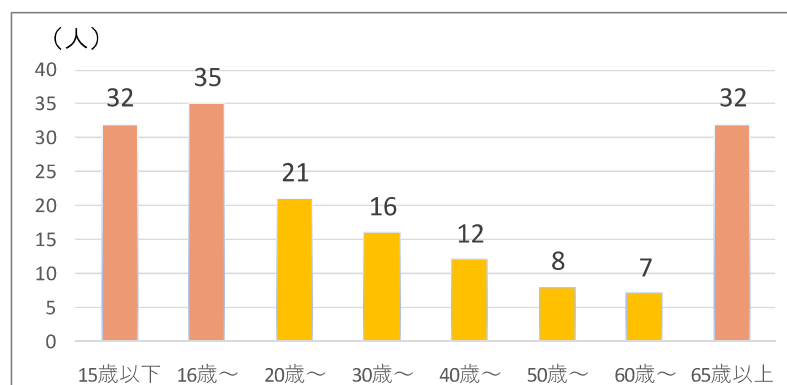


図 6-30 三島市内自転車事故の年代別当事者数

資料:平成29年交通事故統計(三島警察署) 出典)三島市自転車通行空間ネットワーク整備計画書

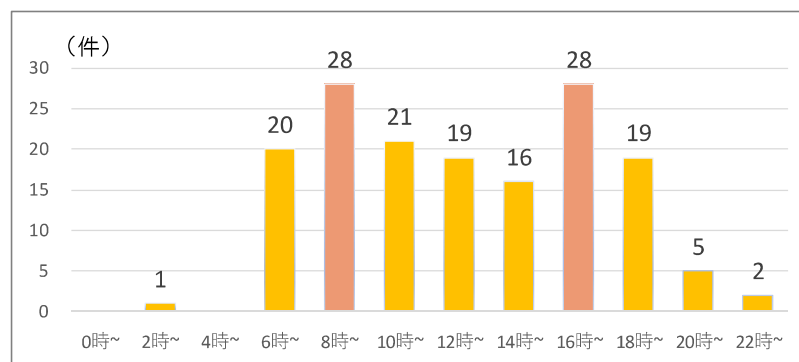


図 6-31 三島市内の時間帯別事故発生件数

資料:平成29年交通事故統計(三島警察署) 出典)三島市自転車通行空間ネットワーク整備計画書

## 2. 自転車事故の発生地点

自転車事故は、市の南部の市街地エリア(特に三島駅以南)で多く発生しています。幹線道路での事故も多く発生しています。

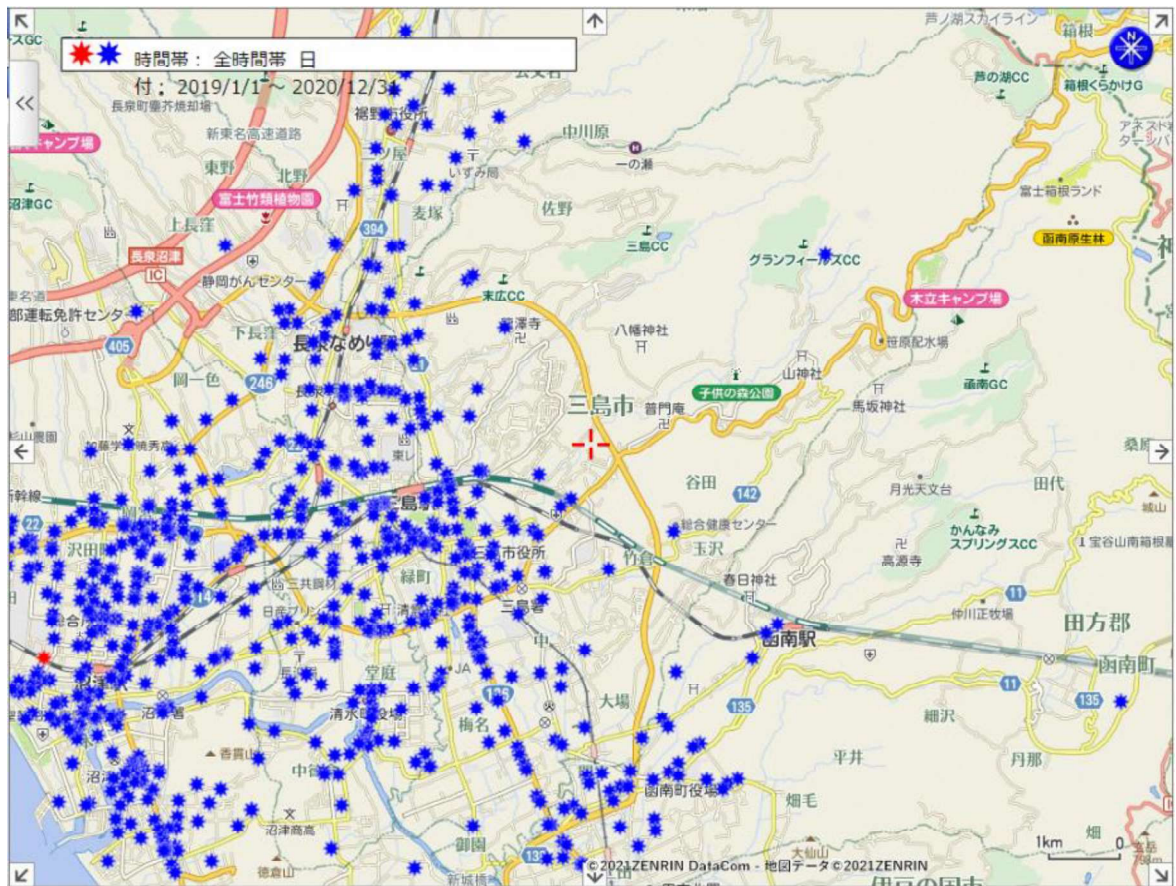


図 6-32 自転車事故発生箇所

出典)静岡県警事故発生MAP(2019.1~2020.12)

## 6-6 環境

### 1. 温室効果ガス排出量

市の温室効果ガス排出量は、2031(令和13)年度までに2013(平成25)年度比で、46%以上削減する目標を設定しています。

表 6-2 部門別温室効果ガス排出量の目標 (単位:千 t-CO<sub>2</sub>)

		2013 (H25) 年度		2017 (H29) 年度		2031 (R13) 年度		2050 (R32) 年度			
		基準年度	現状年度	現状趨勢	排出量	削減率	現状趨勢	排出量	削減率		
エネルギー 起源 CO <sub>2</sub>	産業	185.4	174.4	160.3	89.2	-51.9%	144.6	10.2 以下	-98.5%		
	家庭	179.1	154.5	155.1	90.4	-49.5%	149.0				
	業務その他	130.7	104.2	97.9	55.9	-57.2%	88.9				
	運輸	141.7	142.3	133.9	112.0	-21.0%	115.1				
エネルギー 起源 CO <sub>2</sub> 以外	廃棄物処理	20.0	18.2	15.2	13.8	-31.3%	13.7				
	工業プロセス等	2.7	2.4	2.2	2.2	-20.4%	2.0				
	農業	10.6	9.9	9.7	6.4	-39.4%	9.4				
	代替フロン類	22.4	30.7	28.8	4.0	-82.0%	26.2				
合計		692.5	636.5	603.1	373.8	-	548.9				
基準年度比増減量		-	-8.1%	-12.9%	-46.0%	-	-20.1%			-98.5%	-
森林吸収量		-10.4	-4.7	-	-10.2	-	-	-10.2	-		

注) 端数処理の関係上、各温室効果ガス排出量の和や比が合計値や基準年度比と合わない場合がある。

出典)第3次三島市環境基本計画 三島市地球温暖化対策地方公共団体実行計画(区域施策編)・気候変動適応計画

## 2. 主要渋滞箇所

市内の主要渋滞箇所は5区間、3箇所が指定されています。主要渋滞箇所は、市内の西側の市街地に集中しています。

表 6-3 三島市内の主要渋滞箇所

No	区間・箇所
9	国道1号（三島市谷田付近～清水町八幡付近）
10	清水函南停車場線（三島市梅名付近～清水町湯川付近）
11	三島富士線（三島市大社町西付近～三島市広小路町付近）
12	三島裾野線（三島市大社町西付近～三島市南二日町付近）
13	三島停車場線～三島静浦港線（三島市本町付近～三島市松本付近）
④	三島塚原IC
⑨	水泉園
⑩	御園



図 6-33 沼津・三島エリア主要渋滞箇所(令和2年9月30日時点)

出典)静岡県道路交通渋滞対策推進協議会資料

## 6-7 健康・福祉

### 1. スポーツ実施状況

市民のスポーツ実施率は、国の目標値(令和7(2025)年)の65%程度に対し、令和2(2020)年度で59.9%に留まっています。過去1年で実施したスポーツで「自転車・サイクリング」は11.4%となっており、「ウォーキング」、「体操」、「室内運動器具を使ってする運動・筋トレ」に次ぐ第4位の実施状況です。

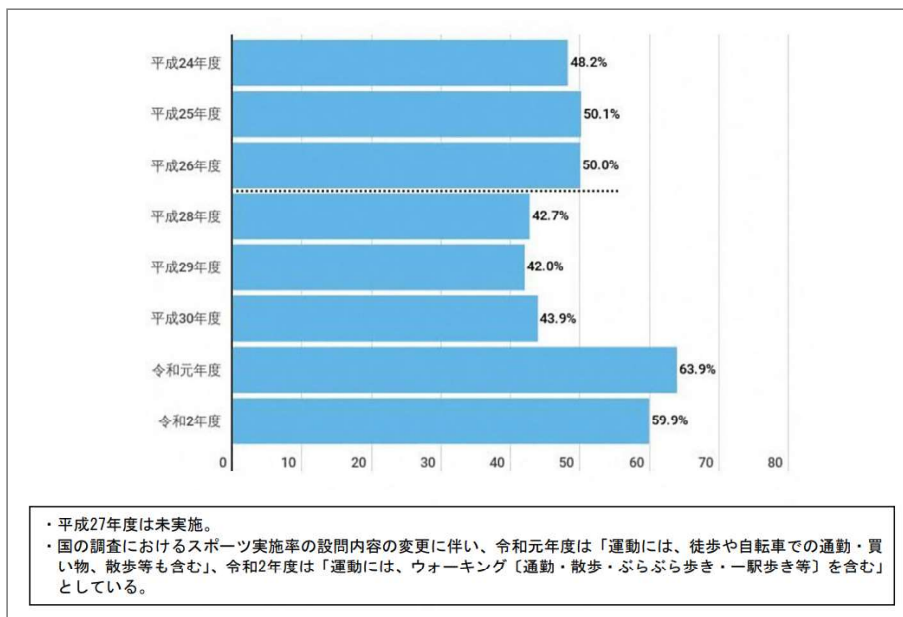


図 6-34 三島市民(成人)のスポーツ実施率(週1回以上)の推移

出典)三島市スポーツ推進計画(改定)

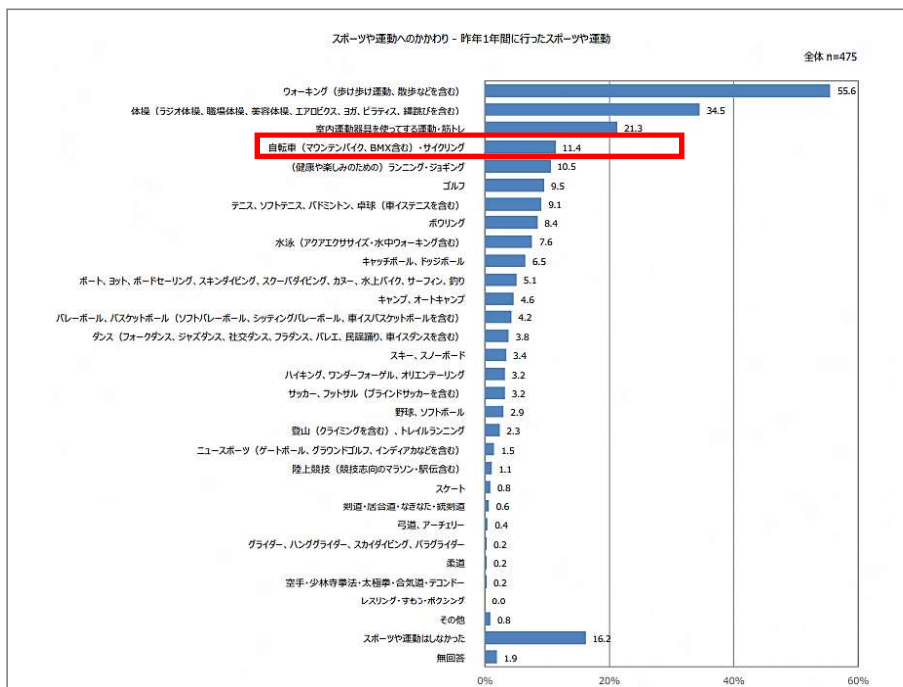


図 6-35 過去1年(2019年)で実施したスポーツ

資料:市民意識調査(18歳以上の三島市民から無作為抽出) 出典)三島市スポーツ推進計画(改定)

## 2. サイクルスポーツ

自転車競技チームの「チームブリヂストンサイクリング」や、自転車競技等の未来のトップアスリートを発掘・育成する「みしまジュニアスポーツアカデミー」が、三島市を拠点として活動しています。

### ■「チームブリヂストンサイクリング」

- 平成 30（2018）年シーズンからトラックとマウンテンバイク競技が開催される伊豆ベロドローム・日本サイクルスポーツセンターに近い三島市を拠点として活動
- 令和 2（2020）年シーズンには 13 名の選手が所属して三島市及び伊豆地域等でトレーニング



図 6-36 チームブリヂストンサイクリング

出典)三島市スポーツ推進計画(改定)

### ■「みしまジュニアスポーツアカデミー」

- 小中学生を対象に、専門家によるトレーニングなどを通じて、五輪などの国際舞台で活躍できる金メダル候補生の発掘・育成が目的
- 対象は、市在住または在学の小学 5 年～中学 2 年生で、競技種目は自転車／レスリング／ボート／ホッケー／フェンシングの 5 種目



図 6-37 みしまジュニアスポーツアカデミー

出典)みしまジュニアスポーツアカデミーHP

## 6-8 観光

### 1. 観光資源分布、観光交流客数

市の年間観光交流客数は、観光施設の増加等により増加傾向で、平成 29(2017)年度には約 767 万人、平成 30(2018)年度には約 775 万人となっています(令和元(2019)年度は新型コロナウイルス感染症の影響で減少)。

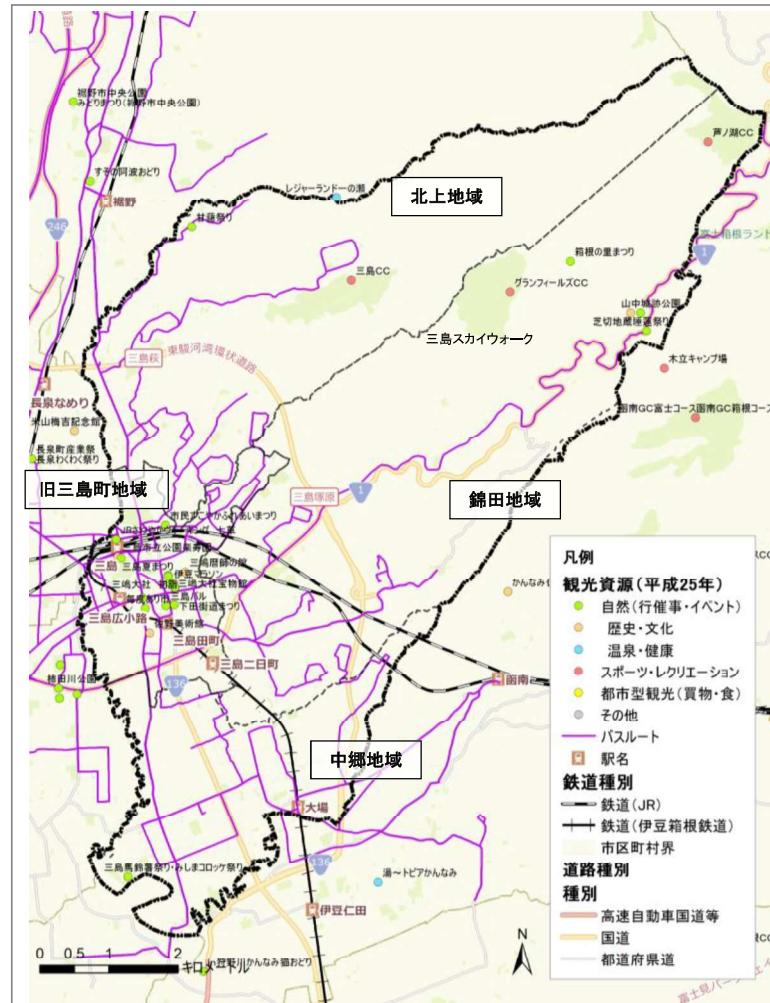


図 6-38 観光資源分布

出典)三島市地域公共交通網形成計画(一部加筆)

表 6-4 宿泊客数と観光レクリエーション客数の推移  
(単位：人)

	平成30年度	平成29年度	前年比
観光レクリエーション客	7,369,432	7,340,483	100.4%
宿泊客	379,024	333,619	113.6%
観光交流客数合計	7,748,456	7,674,102	101.0%

資料)平成 30 年度静岡県観光交流の動向

## 2. 観光客数の周辺市町比較

観光客数を周辺市町と比較すると、御殿場市よりは少ないものの、他の市町よりは多くなっています。観光レクリエーション客は沼津市の2倍強ですが、宿泊客数は沼津市の半分以下です。宿泊客数の構成比は4.9%で、周辺市町村と比較して低くなっています。

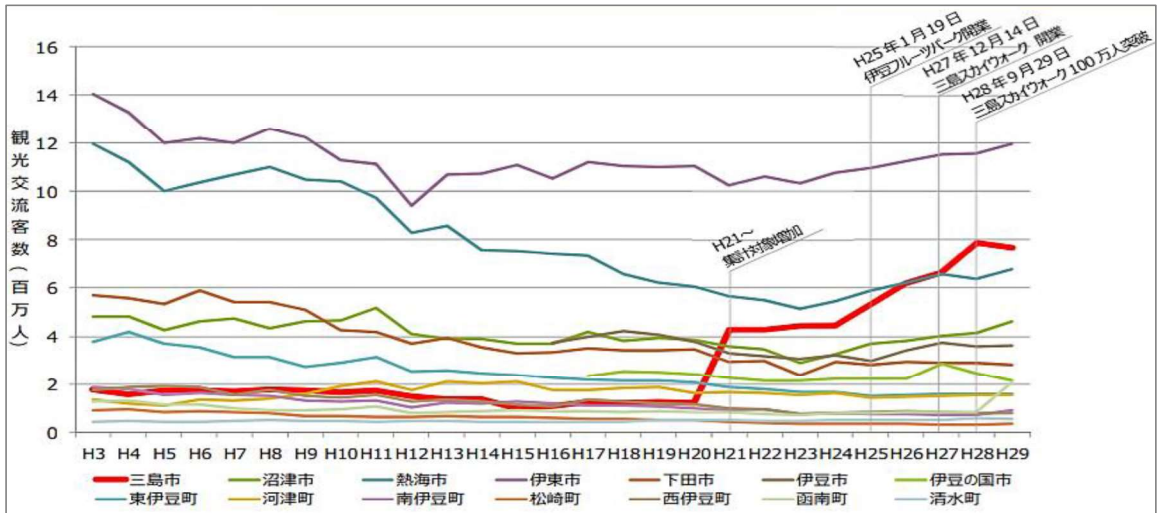


図 6-39 観光交流客数の推移(周辺自治体との比較)

出典)三島市平成30年度観光動態等調査業務報告書

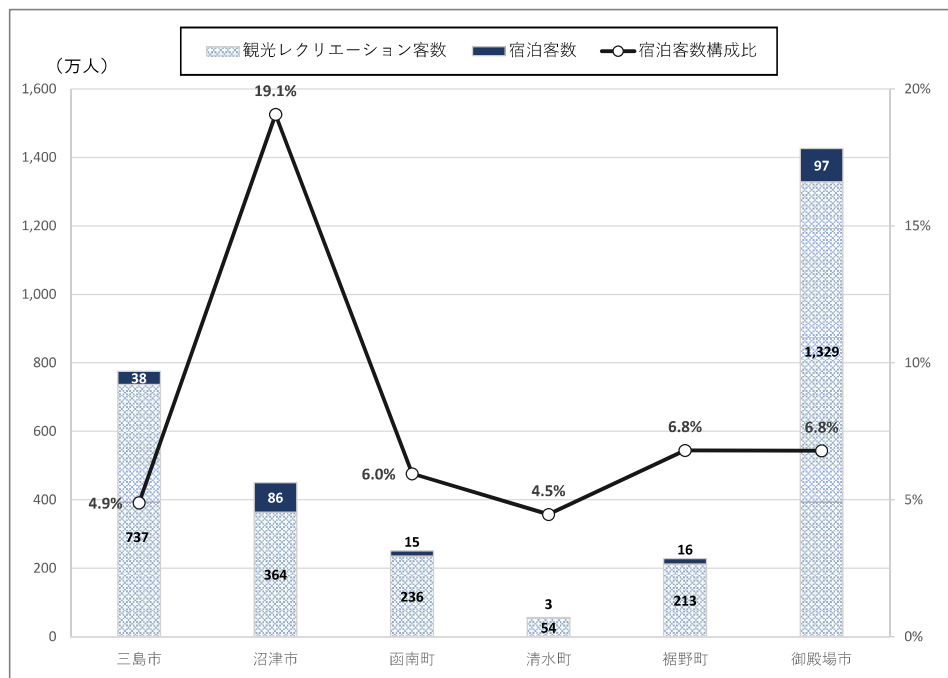


図 6-40 三島市周辺市町村の宿泊客と観光レクリエーション客の状況

資料)平成30年度静岡県観光交流の動向



### 3. 静岡県のサイクリングモデルルート

静岡県自転車活用推進計画の静岡県のサイクリングモデルルートのうち、三島市は「太平洋岸自転車道」、「伊豆半島1周ルート」、「富士山1周ルート」それぞれへアクセスが可能な位置にあります。



- ※ 太平洋岸自転車道：千葉県銚子市～和歌山県和歌山市に至る、延長約 1,400km の自転車道構想
- ※ 伊豆半島 1 周ルート：東京オリンピック・パラリンピックの自転車競技開催を機に官民を挙げてサイクルツーリズムの取組が活性化
- ※ 富士山 1 周ルート：富士山周辺におけるサイクリングを推進し、国内外から富士山周辺地域へサイクリストの誘致を実施

図 6-41 静岡県のサイクリングモデルルート

出典)静岡県自転車活用推進計画

## 4. 太平洋岸自転車道、富士山一周サイクリングルート

「太平洋岸自転車道」(延長 1,487km)は、令和3(2021)年5月 31 日、ナショナルサイクルルートに指定されました。「太平洋岸自転車道」と今後ナショナルサイクルルートへの指定を目指している「富士山一周サイクリングルート」との接続ルートが三島市内を通り、三島駅が交通結節点、三嶋大社及び楽寿園が観光施設として設定されています。

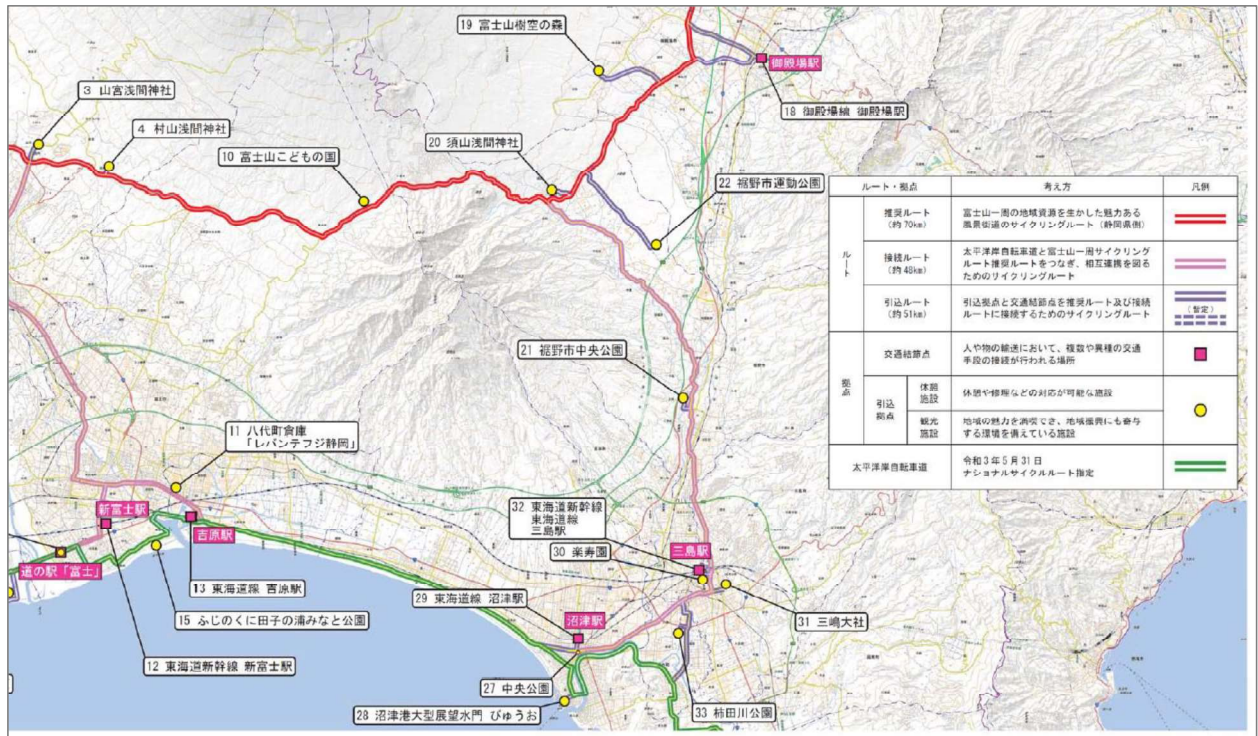


図 6-42 富士山一周サイクリングルート 静岡県側ルート図

出典)ぐるり富士山風景街道 行政連絡会 Press Release

## 5. 箱根八里街道観光推進協議会

箱根八里街道観光推進協議会では、サイクルツーリズムの可能性検証のため、周辺市町を含めてモニターライド、ガイド・フリー散走や、路面表示・注意喚起看板・撮影スポット看板・バイシクルピットの設置を実施しました。



図 6-43 令和元(2019)年度の社会実験実施内容

出典)箱根八里街道観光 HP(箱根八里街道観光推進協議会社会実験委員会)

## 6. 美しい伊豆創造センター

静岡県と「美しい伊豆創造センター」では、「伊豆半島道路ネットワーク会議」を設立し、伊豆地域全体の道路網のあるべき姿と実施計画等を検討しています。「伊豆半島道路ネットワーク会議」では、伊豆全体でのサイクリング環境の整備が掲げられています。

表 6-5 地域活性化プロジェクト(抜粋)

■豊かな自然環境を生かした世界的な観光交流機能の強化■		
	観光資源・拠点整備・イベント等	予定年度
D	【伊豆全体】東京オリンピック・パラリンピック自転車競技	R3
E	【伊豆全体】サイクリングの聖地“ふじのくに”の整備※	R2 整備済

(※整備内容)

- 矢羽根型路面標示の設置により、自転車走行空間の整備を推進
- バイシクルピットの設置等、官民を挙げてサイクルツーリズムの取組を活性化

出典)静岡県 HP「伊豆半島道路ネットワークの利活用による地域活性化プロジェクトマップ」より作成

## 7. 静岡県東部地域スポーツ産業振興協議会ほか

伊豆地域でのサイクリング観光による取組事例の一つとして、「弱虫ペダル」とコラボしてサイクリストおすすめスポットを巡るスタンプラリーが開催されました(～2021年6月末)。スタンプラリーの1スポットとなった富士山三島東急ホテルでは、宿泊者にE-BIKEの貸し出しサービスを実施しています。

**スタンプラリー-POINT!**  
各スポットで、キャラクターのスタンプを押せるよ!

- 5カ所中3カ所のスタンプでオリジナルポストカードももらえる!
- 5カ所すべてのスタンプを集めると、5カ所コンプリート特典に応募できる!

**弱虫ペダル × 伊豆**  
GLORY LINE

富士山に駿河湾—絶景スポットが点在する伊豆半島は、上級者も初心者も楽しめる「サイクリストの憧れ」の地。TVアニメ「弱虫ペダル」シリーズでは、1年目の合宿で登場する。その伊豆が「弱虫ペダル GLORY LINE」& コラボ! サイクリストにおすすめなスポットを巡るスタンプラリーイベントを開催。スタンプを集めて、オリジナル描きおろしポストカードをGETしよう!

**“サイクリストの憧れ”の地、伊豆を満喫してスタンプを集めよう!!**

イベント期間 2020年12月26日(土)～2021年6月30日(水)

**参加方法**  
5カ所中3カ所のスタンプを集められればクリア!  
ポストカード交換済

5カ所中3カ所を巡り、スタンプを集めてください。達成された光景3,000名様に、ちりキャラの描きおろしイラストのオリジナルポストカード2枚をプレゼント(スタンプ設置場所で交換)。また、5カ所全てをコンプリートした方には、抽選でプレゼントの当たるダブルチャンスも! 各スタンプラリーポイントには「弱虫ペダル」キャラクターの描きおろしもある。キャラクターとの記念撮影もお楽しみください!

**※拡大図**

図 6-44 弱虫ペダル×伊豆 スタンプラリー

(出典)JTB パブリッシング HP

## 6-9 自転車利用実態・ニーズ調査結果

### 1. 調査概要

市民、高校生、来訪者(サイクリスト・街乗り観光客)に対して、自転車の利用実態及びニーズを調査しました。

表 6-6 自転車利用実態・ニーズ調査概要

調査区分	市民	高校生	来訪者
調査対象	18歳以上の三島市民から無作為抽出	市内4校の高校2年生	以下の条件にすべて合致する人から抽出 1)三島市以外に居住 2)2~3ヶ月に1回以上サイクリングを実施 3)過去10年間に三島市内で自転車を利用  <b>サイクリスト</b> :三島市内での自転車利用目的が「自転車で楽しむこと」 <b>街乗り観光客</b> :三島市内での自転車利用目的が「観光での単なる移動手段」
調査方法	調査票を郵送配布 回答は郵送あるいはWEB	高校経由でQRコードを配布し、WEB回答	WEBモニターアンケート
調査期間	2021年7月15日~8月6日(集計対象は8月17日到着分まで)	2021年7月15日~7月23日(集計対象は7月29日回答分まで)	2021年8月30日
配布数	2,000票	1,475票	
回収数	827票 (回収率=41.4%)	932票 (回収率=63.2%)	サイクリスト 100票 街乗り観光客 100票

## 2. 目的地までの距離と交通手段（市民・高校生）

普段最もよく行く目的地までの移動は、市民の約7割が5km以下の短距離移動ですが、クルマでの移動が約6割を占めています。月に数日以上自転車を利用している方は、市民の約3割、高校生の約6割で、高校生の利用頻度が高くなっています。

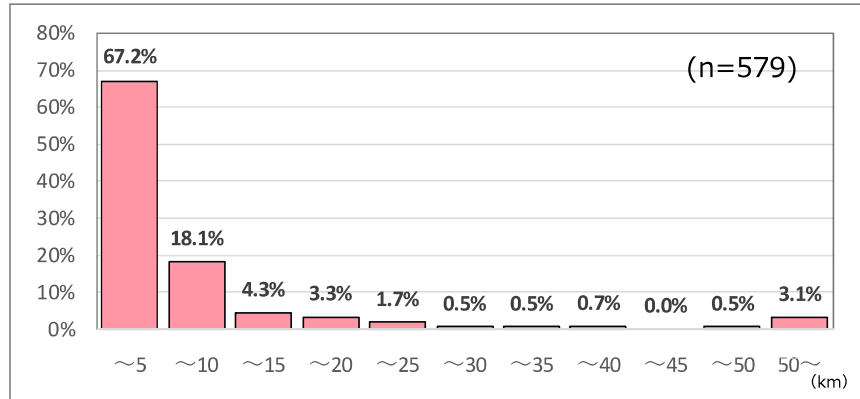


図 6-45 普段最もよく行く目的地までの距離(市民)

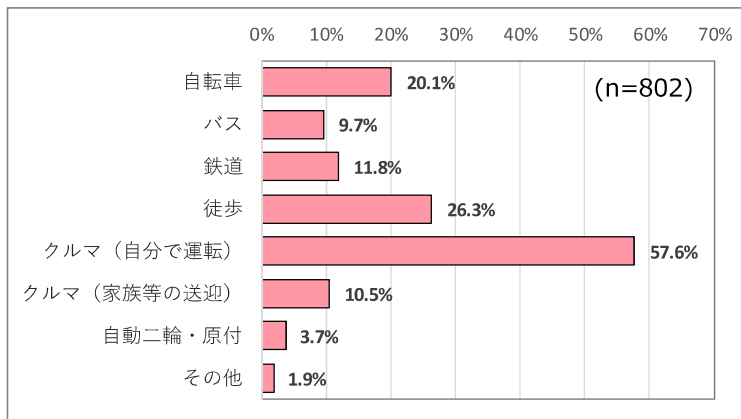


図 6-46 普段最もよく行く目的地までの交通手段(市民)

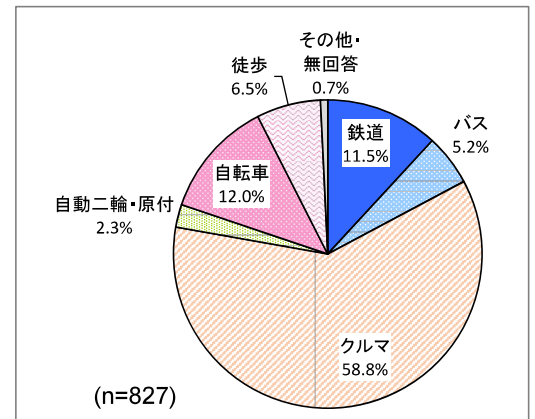


図 6-47 代表交通手段分担率(市民)

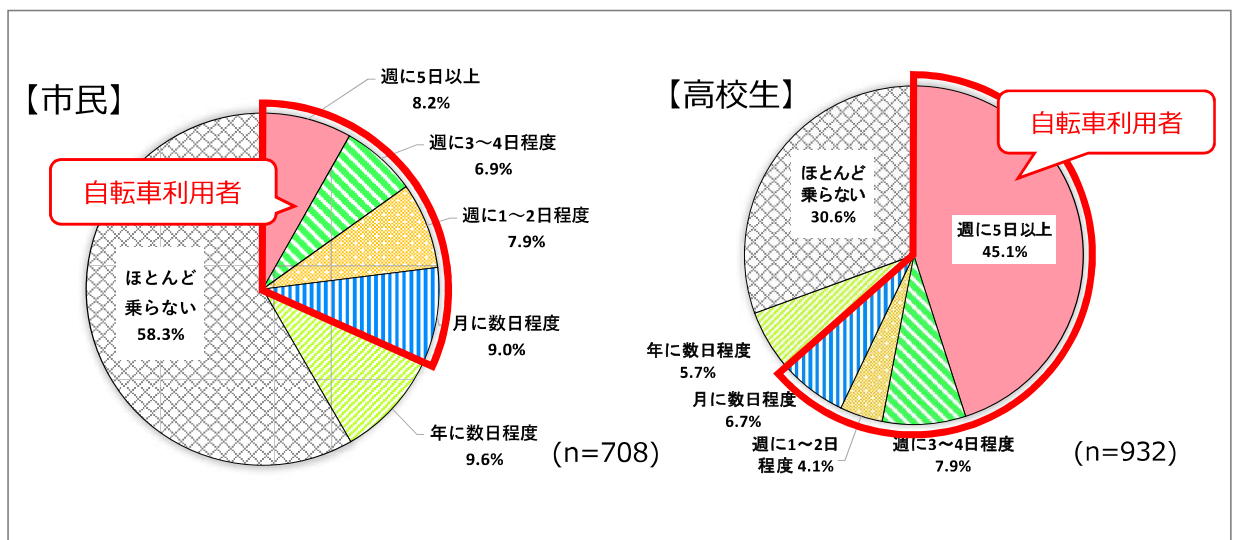
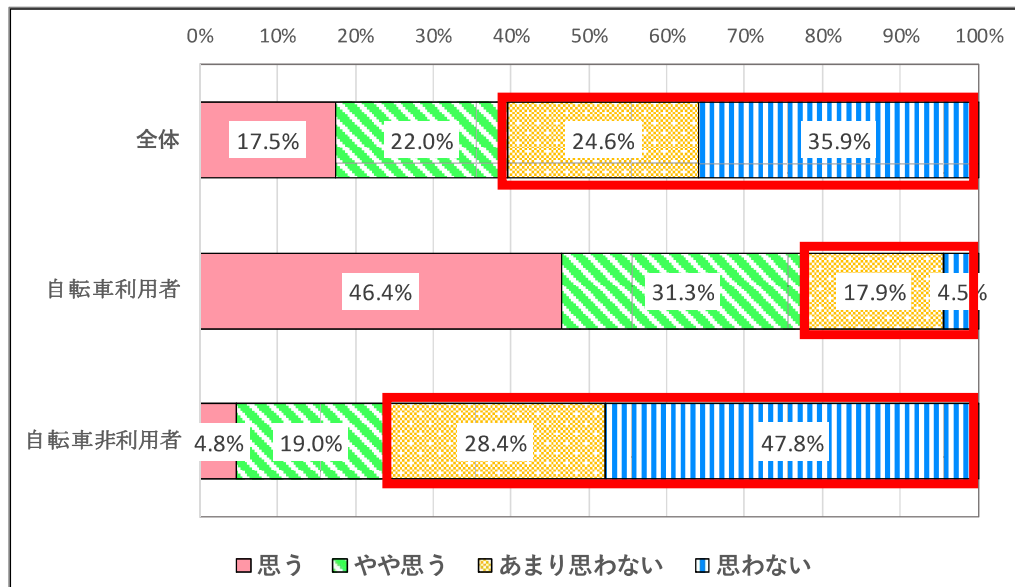


図 6-48 自転車利用頻度(市民・高校生)

### 3. 自転車の利用意向と自転車を利用してもよいと思う最大の距離（市民）

市民全体の約6割、特に自転車非利用者の7割以上で自転車の利用意向が低い状況です。自転車に乗る楽しさや自転車利用による効果の周知、自転車に乗るきっかけづくりが必要となります。



(n=747,自転車利用者n=224,自転車非利用者n=479)

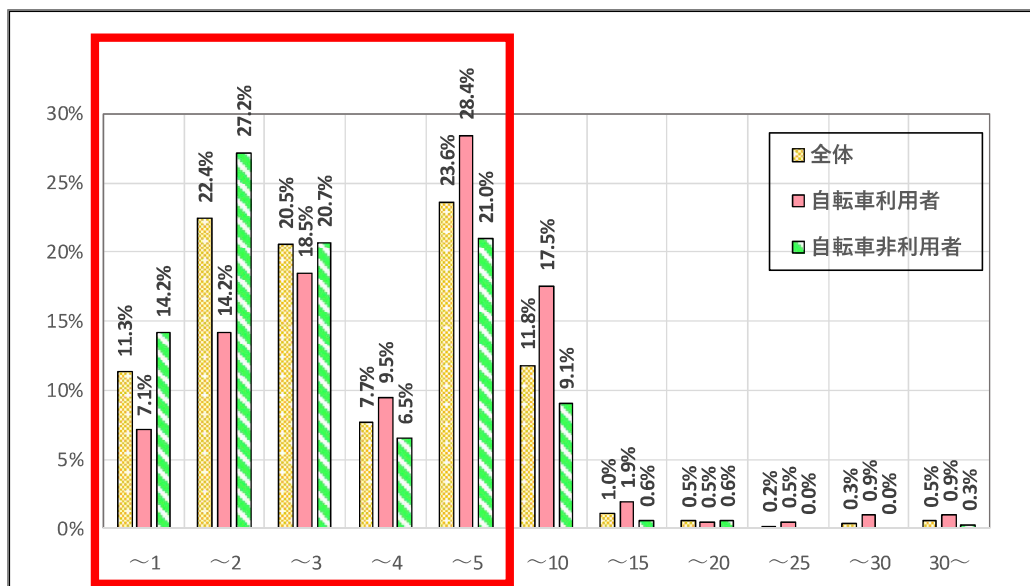
図 6-49 普段の外出時の自転車の利用意向(市民)

※平均値

全体：4.3km

自転車利用者：5.5km

自転車非利用者：3.7km



(n=584,自転車利用者 n=211,自転車非利用者 n=353)

図 6-50 自転車を利用しても良いと思う最大の距離(片道)(市民)

## 4. 自転車通勤（市民）

職場で自転車通勤が認められている通勤者が多く、5km以内の短距離移動での自転車への転換が期待されます。

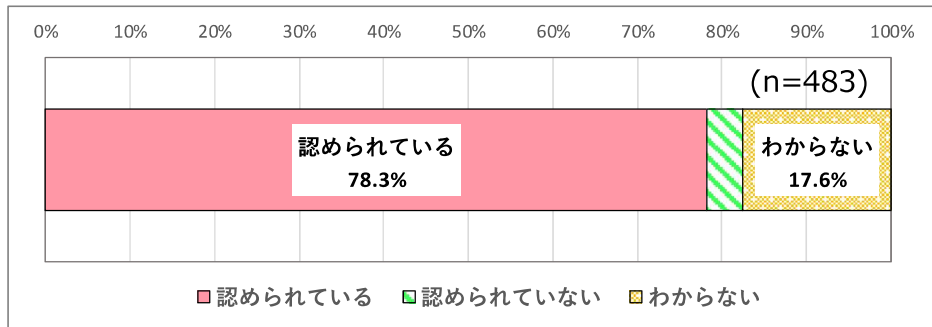


図 6-51 職場での自転車通勤の可否(市民のうち通勤している方)

## 5. シェアサイクルの認知度と利用意向（市民）

市民のシェアサイクルの認知度は6割以上と比較的高いものの、利用したことがある方は少数です。ポートの拡充等の利便性向上と合わせ、利用したことはないがこれから利用してみたい層に対する利用の啓発が必要です。

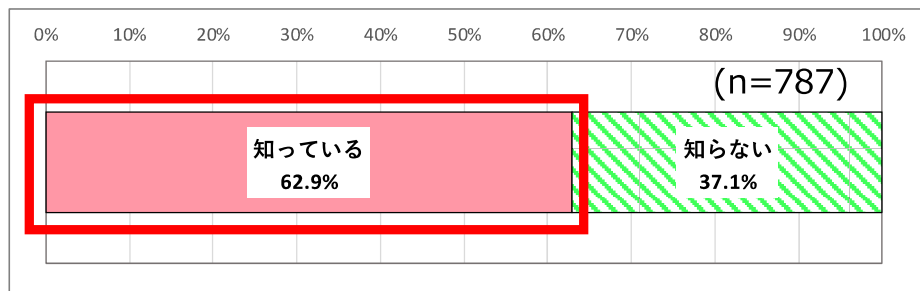


図 6-52 シェアサイクルの認知度(市民)

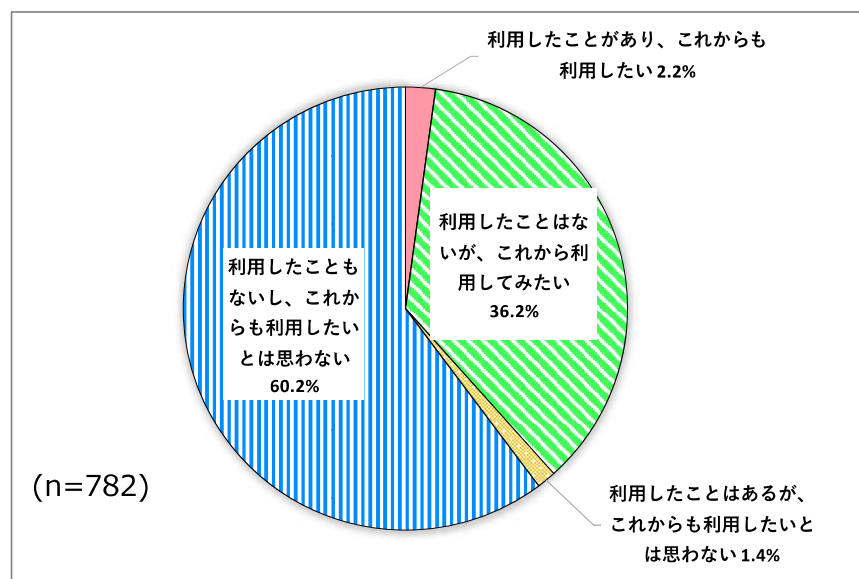


図 6-53 シェアサイクルの利用意向(市民)



## 6. 自転車の調達方法と車種ニーズ（来訪者）

来訪者のうち、街乗り観光客の約8割、サイクリストの約4割がレンタサイクルを利用しています。来訪者にとっても使いやすく、多様な車種ニーズに対応したシェアサイクルやレンタサイクルの整備が必要です。

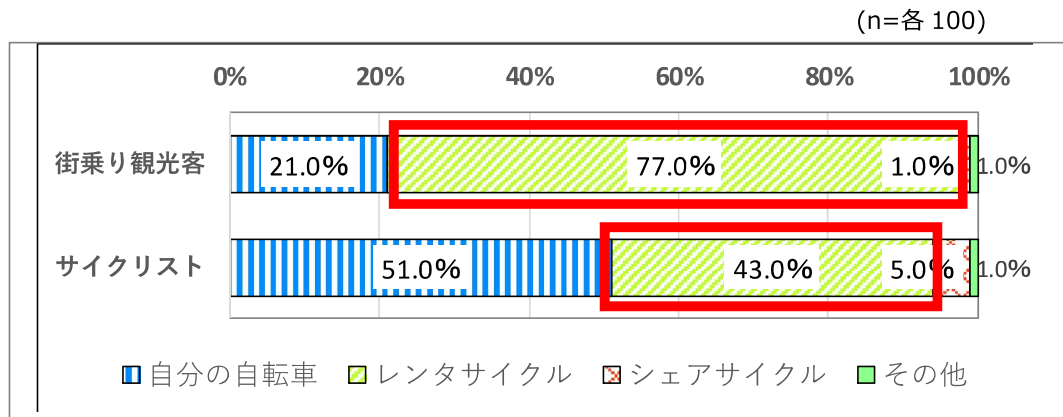


図 6-54 三島市での自転車の調達方法(来訪者)

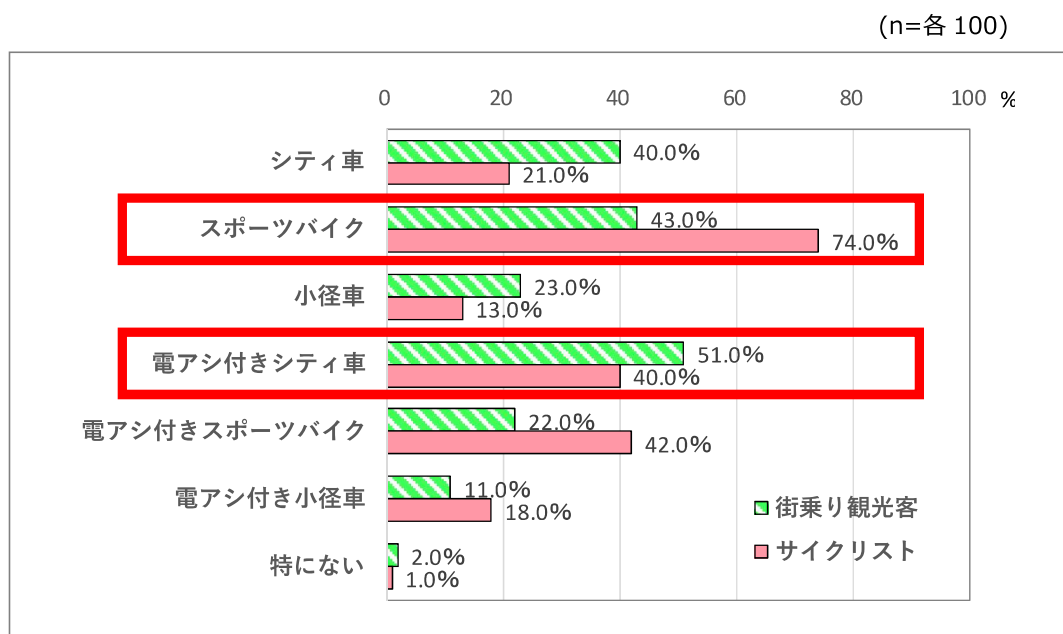


図 6-55 訪問先で利用したいと思う自転車の種類(来訪者)

## 7. 自転車を利用したいと思う環境要件（市民・高校生・来訪者）

市民、高校生ともに、特に自転車利用者から安全で快適な通行空間へのニーズが最も強く求められています。街灯の整備や駐輪スペースに対するニーズも高くなっています。来訪者からも安全で快適な通行空間や駐輪に対するニーズが高いほか、レベルに応じたサイクリングコースの設定や、拠点施設の整備ニーズが高くなっています。

自転車利用者の約4割、非利用者の約3割が、自転車利用者自身がルール・マナーを守ること、自動車等の運転者が自転車へ配慮していることが重要であると考えています。

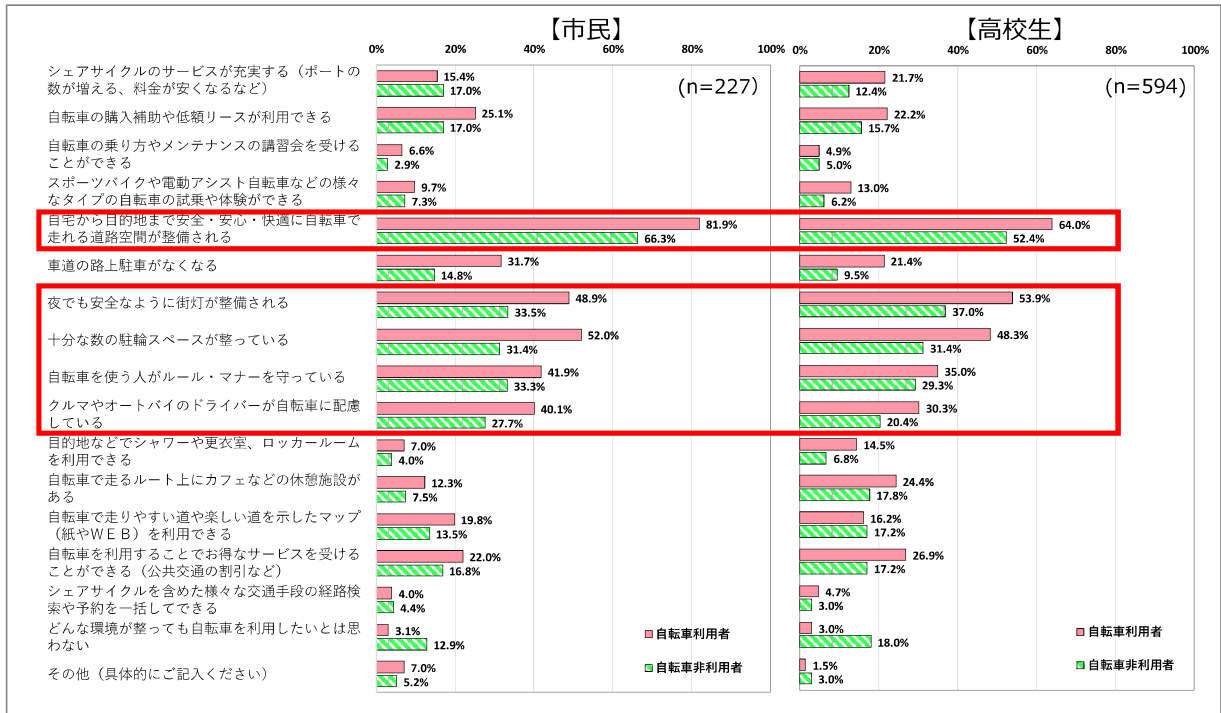


図 6-56 自転車を利用したいと思う環境要件（市民・高校生）

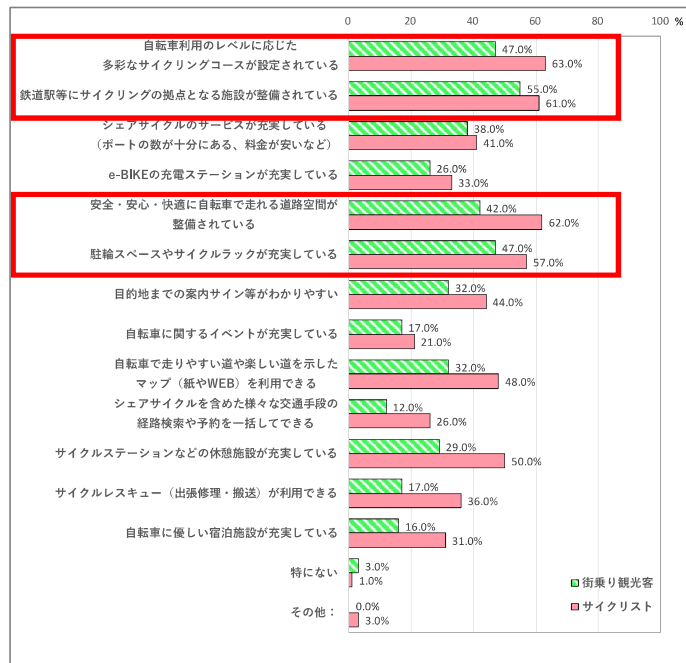
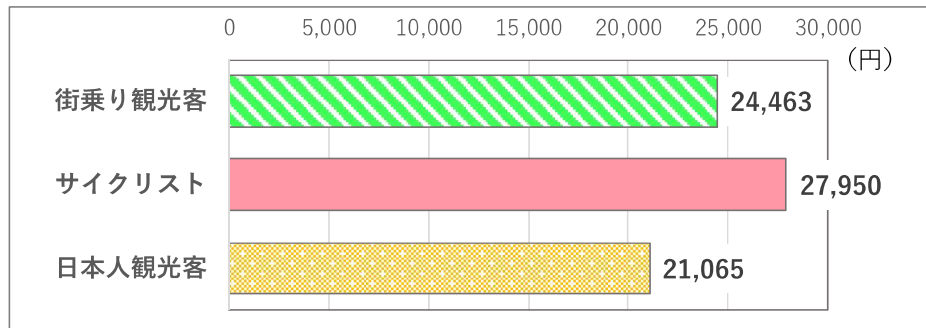


図 6-57 自転車を利用したいと思う環境要件（来訪者）

## 8. 消費金額とイベントニーズ（来訪者）

来訪者の消費金額では、特にサイクリストで通常の観光と比較して金額が高くなっています。スタンプラリーやポタリングなど、市内で消費を促すような仕掛けが有効と考えられます。



※日本人観光客：平成 30 年度観光動態等調査報告書(WEB アンケート)より  
 図 6-58 三島市での消費金額(来訪者)

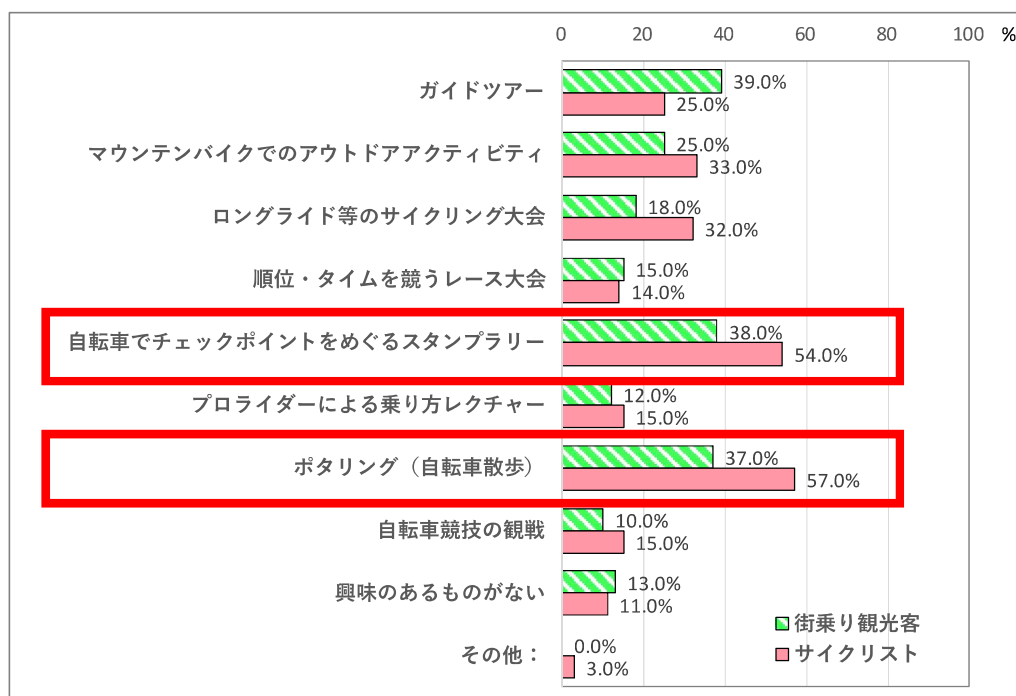


図 6-59 参加したい自転車イベント(来訪者)

## 9. 自転車の交通ルール認知・遵守状況（市民・高校生）

市民・高校生ともに、自転車利用者の交通ルールの認知度は高いものの、自転車の通行位置について遵守できていない方が多くなっています。

ヘルメットの着用は、市民・高校生ともに利用者のうちの数パーセントに留まっており、7割以上はそもそもヘルメットを持っていない状況です。世代を問わず、交通ルールの遵守やヘルメットの着用に対する啓発が必要です。

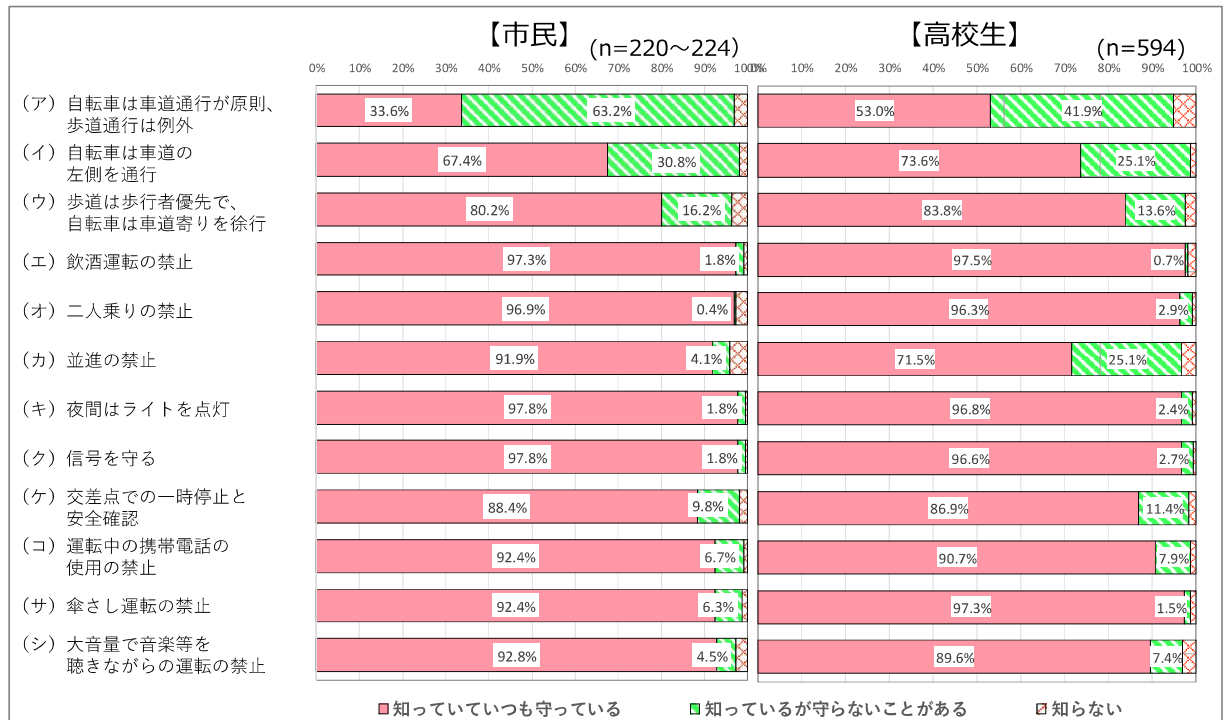


図 6-60 自転車の交通ルールの認知・遵守状況(自転車利用者)

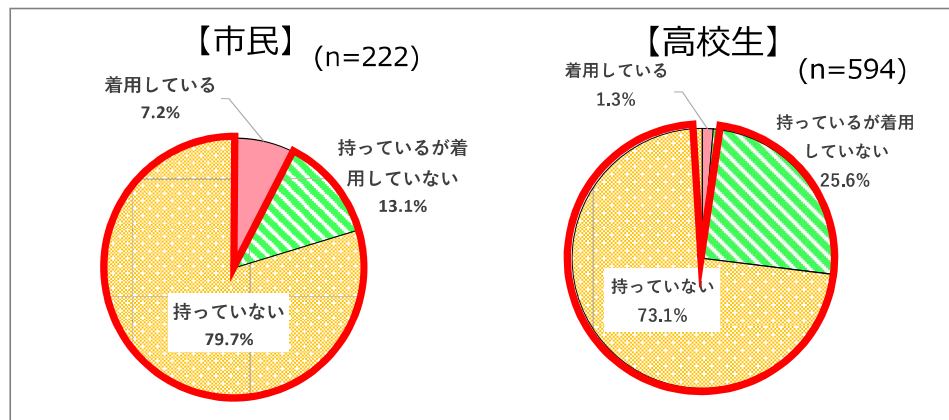


図 6-61 ヘルメットの所有と着用状況(自転車利用者)

## 6-10 計画策定の体制及び経緯

### 1. 三島市自転車活用推進協議会 委員名簿

表 6-7 三島市自転車活用推進協議会 委員名簿

No.	選出区分	所属・役職	氏名
1	交通事業者	東海旅客鉄道株式会社 三島駅長	小笹 晃之
2	交通事業者	伊豆箱根鉄道株式会社 執行役員 観光事業部長	齊藤 昌広
3	交通事業者	バス三社会 会長 (富士急シティバス株式会社 取締役社長)	堀内 明広
4	交通事業者	静岡県タクシー協会 沼津・三島支部 副支部長 (伊豆箱根交通株式会社 代表取締役)	土屋 貴紀
5	道路管理者	国土交通省中部地方整備局 沼津河川国道事務所長	渡部 正一
6	道路管理者	静岡県沼津土木事務所 企画検査課長	稲葉 浩正
7	管轄警察署	三島警察署 交通課長	神尾 健司
8	学識経験者	埼玉大学理工学研究科 教授	久保田 尚
9	商工	東京電力パワーグリッド(株) 静岡総支社長 (三島商工会議所運輸通信サービス業部会幹事)	渋井 慶次郎
10	観光	一般社団法人三島市観光協会 副会長 (株式会社昭明館 代表取締役)	前田 智子
11	観光	三島市観光アンバサダー (Thinkings 株式会社 広報 PR)	石橋 みなこ
12	教育	静岡県教育員会 教育委員	渡邊 靖乃
13	住民	三島市自治会連合会 会長	山下 聖秋
14	住民	三島市交通指導員会 会長	栗原 薫
15	自転車利用者	JCGA 公認サイクリングガイドリーダー/JCA 認定 (NPO 法人カケルバイク所属)	松本 徹也
16	自転車利用者	伊豆北マウンテンバイク協会 代表 (バイシクルショップ ゲンノジ 代表)	高橋 弦一

## 2. 三島市自転車活用推進計画 策定の流れ

表 6-8 三島市自転車活用推進協議会 開催経緯

開催回	開催日	協議事項
第1回	令和3年 11月11日(木)	(1)自転車活用推進計画の方向性について (2)三島市の自転車に関する現状と課題について (3)計画目標と施策・措置の方向性について (4)計画策定のスケジュールについて
第2回	令和4年 1月19日(水)	(1)自転車活用推進計画の方向性について (2)自転車活用推進計画の原案について (3)計画策定のスケジュールについて

表 6-9 自転車を活用したまちづくり推進プロジェクトチーム 開催経緯

開催回	開催日	協議事項
第1回	令和3年 8月4日(水)	(1)自転車活用推進計画の方向性について (2)三島市の自転車に関する現状と課題について (3)計画目標と施策・措置の方向性について (4)計画策定のスケジュールについて
第2回	令和3年 12月21日(火)	(1)自転車活用推進計画の方向性について (2)施策について (3)成果指標について (4)計画策定のスケジュールについて